



公表文献調査報告書
ホセチル

**Summary of the literature data for
Fosetyl aluminium**

2023/12/12
2024/04/18 修正

バイエルクロップサイエンス株式会社
Bayer CropScience K.K.

目次

概要.....	1
1. 検索に用いたデータベース、検索日及び検索に用いたデータベースに関する情報 （用いたデータベースの特徴、文献検索時の文献数、更新頻度、等）	2
2. 検索に使用したキーワード、検索の条件	3
(1) 対象とする農薬.....	3
(2) 評価対象となる影響.....	3
(3) 評価対象の生物種等	3
3. 評価目的との適合性評価（第1段階、第2段階）及び信頼性評価で設定した判断基準.....	4
第1段階：文献の表題及び概要に基づく適合性評価（RA）	4
第2段階：文献の全文に基づく適合性評価（DA）	4
(ア) 評価の目的と適合しない文献の除外	4
(イ) 評価の目的と適合した文献の分類	5
4. 国際機関や欧米の評価機関の評価書に結果が引用されている文献	6
5. 検索結果のまとめ	7
6. 適合性評価の第2段階で「適合しない」と判断した論文リストとその理由	7
7. 適合性評価の第2段階で「区分a」「区分b」「区分c」へ分類された論文リストとその理由.....	7
8. 適合性評価の第2段階で「区分a」と判断した論文リスト及び信頼性を評価した結果.....	8
9. EFSA、USEPA、JMPR の評価において評価書に結果が引用されている場合は、引用した機関、 引用された評価書名、発行年等の情報	8
別表.....	11
別表 1. 適合性評価の第2段階で「適合しない」と判断された文献とその理由	11
別表 2. dRAR に引用されている文献のうち「適合しない」と判断された文献	15

概要

「再評価における公表文献の提出について」（令和 3 年 10 月 1 日付け 3 消安第 3460 号農林水産省消費・安全局長通知）に従ってホセチルに関する公表文献の検索を行い、収集した文献の評価目的との適合性を確認した。

検索は、再評価資料提出期限の始期の 6 か月前から過去 15 年間（2008 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）を対象期間とし、STN プラットフォームを利用して 13 の科学論文データベースを用い、化合物名、CAS 番号及び商品名などのキーワードを用いて実施した。収集した公表文献は、2 段階（文献の表題及び概要に基づく適合性評価（RA）及び文献の全文に基づく適合性評価（DA））に分けて評価目的との適合性を確認した。

また、上述の検索とは別に、欧州、米国、FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議（JMPR）の評価において評価書に引用されている文献を調査した。欧州の Draft Renewal Assessment Report に引用されている文献については評価目的との適合性も確認した。

データベースを用いて検索抽出された文献（データベース間の重複を除く）のうち、海外評価書に引用されていない文献は 1166 報であった。これらについて評価目的との適合性を確認した結果、第 1 段階で評価目的に適合しないと判断された文献は 1147 報、第 2 段階で評価目的に適合しないと判断された文献は 18 報（別表 1 参照）、第 2 段階で適合性ありと判断された文献は 1 報であり、この 1 報は区分 c に分類された（表 6 参照）。第 2 段階で適合性ありと判断された文献 1 報については写しを添付した。

国際機関や欧米の評価機関の評価書に結果が引用されている文献は 276 報であった。欧州の Draft Renewal Assessment Report（本文中では dRAR と記載）に引用されている文献は 274 報で、このうち JMPR 評価書にも引用されている 2 報を除いた 272 報について評価目的との適合性を確認した結果、適合しないと判断された文献は 260 報（別表 2 参照）であった。dRAR に引用され、適合性なしと判断しなかった文献、並びに他の評価書に引用されている文献の計 16 報（表 7 参照）については写しを添付した。

1. 検索に用いたデータベース、検索日及び検索に用いたデータベースに関する情報 (用いたデータベースの特徴、文献検索時の文献数、更新頻度、等)

検索に用いたデータベースに関する情報、検索日及び検索対象期間を表 1 に示す。

表 1. 文献検索に用いたデータベースの概要

データベース名	データベースの特徴、収載分野等	収載範囲、文献数	更新頻度	検索日	検索対象期間
AGRICOLA (Agriculture Online Access Database)	農業、食品化学、栄養学等、農業及びその関連分野の情報が世界の主要な文献から収録されている。	1970 年～現在 820 万件以上 (2023 年 2 月現在)	月 1 回	2023 年 6 月 1 日	2008 年 4 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 31 日
BIOSIS (BIOSIS Previews /RN Database)	生物学を含むライフサイエンス分野全般を広く収録。	1926 年～現在 2780 万件以上 (2019 年 4 月現在)	週 1 回		
CABA	林学、獣医学、食品を含む農学関連の全分野。	1973 年～現在 990 万件以上 (2020 年 9 月現在)	週 1 回		
Chemical Abstracts	生化学、有機化学、高分子化学、応用科学、分析など化学及び周辺分野。	1907 年～現在 4560 万件以上 (2022 年 1 月現在)	週 1 回		
DRUGU (Derwent Drug File)	合成、分析、生化学、薬理学、代謝、毒性学など医薬品に関する全ての分野。	1964 年～現在 270 万件以上 (2022 年 11 月現在)	週 1 回		
EMBASE	生物医学及び薬学領域。医薬品に関連する文献を多く収録。	1947 年～現在 3430 万件以上 (2018 年 8 月現在)	毎日		
ESBIOBASE (Elsevier BIOBASE)	生物学研究に関する全分野。	1994 年～2021 年 9,131,947 件	—		
IPA (International Pharmaceutical Abstracts)	米国薬剤師会が製作し、薬学及び健康関連文献等を収録する。	1970 年～現在 682,900 件以上 (2019 年 8 月現在)	月 2 回		
MEDLINE (MEDlars onLINE)	生物医学及び薬学、歯学、看護学、獣医学など。	1946 年～現在 3350 万件以上 (2022 年 1 月現在)	週 6 回		
PQSCITECH (ProQuest Science & Technology)	収録範囲は農業、医学、環境学、海洋学、薬剤学など非常に広く、エンジニアリングからライフサイエンスに及ぶ科学・技術分野。	1962 年～現在 3430 万件以上 (2022 年 7 月現在)	月 1 回		
SciSearch (Science Citation Index)	主要な科学、技術、医学雑誌等を収録する。	1974 年～現在 4770 万件以上 (2019 年 8 月現在)	週 1 回		
TOXCENTER (Toxicology Center Database)	薬物や化学物質の薬理学的、生化学的、生理学的、毒物学的作用に関する情報を収録。	1907 年～現在 1620 万件以上 (2022 年 1 月現在)	週 1 回		
FSTA (Food Science and Technology Abstracts)	食品化学と食品工業分野の文献情報	1969 年～現在 179 万件以上 (2022 年 7 月現在)	週 1 回		

(参照) <https://www.stn-international.com/en/database-summary-sheets>

2. 検索に使用したキーワード、検索の条件

(1) 対象とする農薬

ホセチルを対象とした検索を、CAS 番号、一般名、商品名、別名等を用いて行った。

表 2. 検索に用いたキーワード

一般名	Fosetyl Aluminium
IUPAC 名	Aluminum tris (ethyl phosphonate)
CAS 番号	39148-24-8
商品名、別名等	ALIETTE、ALLIETE、CHIPCO SIGNATURE、EFAL、EPHAL、PROFILER、SINOPHOS、YILINLU、EXP 1659、LS 74-783
検索に使用したキーワード、検索の条件	(39148-24-8 OR 35851-69-5 OR 118064-75-8 OR 328402-73-9 OR 1135443-39-8 OR 328402-73-9 OR 1135443-39-8 OR "ALUMINIUM TRIS(O-ETHYLPHOSPHONATE)" OR "ALUMINUM TRIS(ETHYL PHOSPHITE)" OR (ALIETTE OR ALLIETE OR CHIPCO SIGNATURE OR EFAL OR EPHAL OR PROFILER OR SINOPHOS OR YILINLU)(W)(R OR TRM OR TM) OR EXP 1659 OR LS 74-783 OR (FOSETYL OR FOSETHYL OR PHOSETHYL OR EFOSITE) (W)(ALUMINIUM OR ALUMINUM OR AL) OR 15845-66-6 OR 861512-79-0 OR 863705-39-9 OR 1135443-38-7 OR ETHYL (W)(HYDROGEN PHOSPHONATE OR PHOSPHITE) OR FOSETYL OR MONOETHYL (W)(PHOSPHITE OR PHOSPHONATE)) AND NOT P/DT

NOT P/DT は、Document Type として特許 (Patent) を含まない事を意味している。

(2) 評価対象となる影響

検索は 4 分野としての限定を行わず、すべての文献を対象とした。

表 3. 4 分野に関連する文献の検索に用いたキーワード

ヒトに対する毒性	分野に関するキーワードを検索に利用していない
農作物及び畜産物への残留	
生物環境動植物及び家畜に対する毒性	
環境動態	

(3) 評価対象の生物種等

検索は評価対象の生物種等での限定を行わず、すべての文献を対象とした。

表 4. 評価対象となる生物種等に関するキーワード

ヒトに対する毒性	生物種に関するキーワードを検索に利用していない
農作物及び畜産物への残留	
生物環境動植物及び家畜に対する毒性	
環境動態	

3. 評価目的との適合性評価（第1段階、第2段階）及び信頼性評価で設定した判断基準

第1段階：文献の表題及び概要に基づく適合性評価（RA）

第1段階として、文献の表題及び要約に基づき、下記の①から⑮に該当するものは明らかに評価の目的と適合しない文献と見なした。

- ①当該農薬と関係しない論文（当該農薬の代替剤等）
- ②政策、社会、経済分析に関する論文
- ③農産物等の生産、流通に関する論文
- ④薬効、薬害、物理的・化学的性状に関する論文
- ⑤分析法やその開発に関する論文
- ⑥新規合成法や基礎化学の観点で記載された論文
- ⑦特許関連文献
- ⑧リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書
- ⑨リスク評価に使用できる新規のデータが提示されていない意見書
- ⑩科学論文や規制についての総説を含む二次情報において、当該文献が参照する一次資料（原著）の確認ができないもの
- ⑪一般的な農薬の暴露に関する論文（当該農薬に限定せず、広範囲の農薬について記載されたもの）
- ⑫異なる有効成分に由来する混合製剤の毒性に関する論文
- ⑬IV.の2.の②に掲げる4分野に関係しない論文
- ⑭日本で登録されている処方以外の製剤に関する論文
- ⑮コンピュータシミュレーション等を用いたドライラボのみの論文

第2段階：文献の全文に基づく適合性評価（DA）

第1段階で除外した以外の公表文献については、文献全文の内容に基づいて、以下の手順に従って評価目的との適合性を検証した。

（ア）評価の目的と適合しない文献の除外

第1段階で記載した①から⑮に加えて次の⑯及び⑰の基準を参考に、文献全文の内容に基づいて評価目的との適合性がない文献を除外した。

- ⑯試験設計、試験系、試験種、被験物質、暴露経路等が評価に活用する観点で妥当でないもの
 - a) 試験方法が記載されていないもの
 - b) 適切に評価できる試験種で実施されていないもの
 - c) 適切な経路で投与／処理されていないもの
 - d) 投与又は処理した被験物質量が明記されていないもの
 - e) 被験物質の添加に用いた媒体が確認できないもの
 - f) 分析法が記載されていないもの

- ⑰日本の代表的な使用方法／使用条件における評価に活用できない文献（ほ場条件、土性等）

(イ) 評価の目的と適合した文献の分類

(ア)で除外した以外の文献については、適合性があると判断した文献とし、下記の分類基準に従って、全文をレビューし3つの区分に分類した。

①分類基準

1. 実施している試験環境がテストガイドライン（TG）で定める条件と合っていること
2. 投与又は処理した被験物質の純度が明記されていること
3. 統計解析が可能な動物数／例数が確保されていること
4. 複数の用量で実施されていること（最低3用量で実施）
5. 無処理区（コントロール区）が設定されており、TGに照らしその結果が適正であること
6. 解析方法及び結果が報告されていること

ヒトに対する毒性に関して、区分 a に該当するかどうかについては、食品安全委員会で示された「定量的データ」として分類される下記基準を参考とした。

- ・公表文献で用いられた用量が、研究内容と同等である安全性試験で用いられた最低用量よりも低いこと
- ・公表文献の研究結果が、他の試験結果と比較できる単位を用いて報告されていること
- ・研究の結論、エンドポイント及び用量が正確で、信頼でき、妥当であることを実証するための十分な情報が公表文献中に提供されており、研究結果が再現される可能性があることと判断できること

②分類区分

区分	該当する文献
a	リスク評価パラメーター（ADI、ARfD、AOEL、残留基準、生活環境動植物の登録基準、水産 PEC 等）を設定又は見直すために利用可能と判断される文献
b	リスク評価パラメーターを設定する際の補足データとして利用が可能と想定される文献
c	a 又は b に分類されない文献

結果の信頼性に基づく分類

評価目的への適合性評価において「区分 a」に分類した文献は無かったことから、Klimisch 基準における分類等は行わなかった。

4. 国際機関や欧米の評価機関の評価書に結果が引用されている文献

公表されている海外評価書（下記 1～6）において結果が引用されている文献を確認した。欧州の dRAR（下記 1）に引用されている文献については評価目的との適合性も確認した。

- 1) Draft Renewal Assessment Report prepared according to the Commission Regulation (EU) No 1107/2009, 2018
- 2) Fosetyl-Aluminum [Fosetyl-Al]: Human Health Risk Assessment for the Establishment of Tolerances with No U.S. Registration in/on Pepper/eggplant, Subgroup 8-10B and Pepper, Non-bell (Chili), Dry Fruit., 2014, ID:EPA-HQ-OPP-2014-0540-0007
- 3) Preliminary Ecological Risk Assessment for Registration Review of Fosetyl-Aluminum, 2014, ID:EPA-HQ-OPP-2007-0379-0024
- 4) Pesticide residues in food 2017, Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residues, Evaluations 2017, Part I Residues
- 5) Pesticide residues in food 2017, Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residues, Evaluations 2017, Part II Toxicological
- 6) Pesticide residues in food 2019, Extra Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residues, Evaluation, Part I Residues

5. 検索結果のまとめ

表 5-1. 評価目的との適合性評価（第 1 段階、第 2 段階）の結果のまとめ

分野	該当する論文数	海外評価書引用文献		第 1 段階 ³⁾		第 2 段階 ³⁾	
		適合性なし ¹⁾	左記以外 ²⁾	適合性なし	左記以外(第 2 段階へ)	適合性なし	適合性あり
ヒトに対する毒性	—	—	1	—	4	4	0
農作物及び畜産物への残留	—	—	2	—	6	5	1
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	—	—	2	—	7	7	0
環境動態	—	—	11	—	2	2	0
合計	1442	260	16	1147	19	18	1

—：分野分けは行っていない。

¹⁾ 欧州の dRAR に引用されている文献のうち「適合しない」と判断された文献。

²⁾ 欧州の dRAR に引用されている文献のうち「適合しない」と判断された文献以外の文献、並びに他の海外評価書に引用されている文献。

³⁾ 海外評価書に引用されている文献を除く。

表 5-2. 適合性評価第 2 段階で適合性ありとされた文献の分類結果

分野	該当する論文数		
	区分 a	区分 b	区分 c
ヒトに対する毒性	0	0	0
農作物及び畜産物への残留	0	0	1
生活環境動植物及び家畜に対する毒性	0	0	0
環境動態	0	0	0
合計	0	0	1

6. 適合性評価の第 2 段階で「適合しない」と判断した論文リストとその理由

第 2 段階で「適合しない」と判断された文献 18 報について、リストと適合しないと判断した理由を別表 1 に示す。

7. 適合性評価の第 2 段階で「区分 a」「区分 b」「区分 c」へ分類された論文リストとその理由

第 2 段階で「区分 a」及び「区分 b」に分類された文献は無かった。「区分 c」へ分類された文献を表 6 に示した。

表 6. 適合性評価の第 2 段階で「区分 c」と判断した論文とその理由

リスト No.	文献ファイル名	データ要求 (項目番号)	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由
7-1	M-853176-01-1	II 6.6	Tonidandel, L.; Roman, T.; Nicolini, G.; Larcher, R.	2018	First evidence of ethyl-hydrogen phosphonate (fosetyl) formation in winemaking.	Food Chemistry (2018), Volume 256, pp. 297-303 ISSN: 0308-8146 DOI: 10.1016/j.foodchem.2018.02.065	ぶどう果汁中のホスホン酸がアルコール発酵中にホセチルに変換（メチル化）されることを報告した文献である。ホセチルの残留基準の規制対象はホセチルとホスホン酸（ホセチル換算）の含量であり、合両値としては増加しないため、リスク評価に用いることが無いと判断した。

8. 適合性評価の第 2 段階で「区分 a」と判断した論文リスト及び信頼性を評価した結果

第 2 段階で「区分 a」と判断された文献は無かった。

9. EFSA、USEPA、JMPR の評価において評価書に結果が引用されている場合は、引用した機関、引用された評価書名、発行年等の情報

「4. 国際機関や欧米の評価機関の評価書に結果が引用されている文献」に示す海外評価書に引用されている 4 分野に関する文献 16 報（欧州の dRAR については「適合しない」と判断された文献以外の文献）を表 7 に示す。また、欧州の dRAR に引用されている文献のうち「適合しない」と判断された文献 260 報のリスト及びその判断理由を別表 2 に示す。

表 7. EFSA、USEPA、JMPR の評価書に結果が引用されている文献（dRAR については「適合しない」と判断された文献以外の文献）

リスト No.	文献ファイル名	データ要求 (項目番号)	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	評価機関	評価書情報 (発行年等)	備考
9-1	M-202959-01-1	II 5	Clayson, Db; Fishbein, L; Cohen, Sm	1995	Effects of stones and other physical factors on the induction of rodent bladder cancer.	Food Chem. Toxicol., (1995) Vol. 33, Issue 9, pp. 771-784	JMPR	JMPR Part II (2017)	ラットの膀胱がんの発生機序に関する総説でありホセチルを被験物質として用いた研究ではない。
9-2	M-165516-01-1	II 6.2.1	Luttringer, M; Decormis, L	1985	Absorption, dégradation et transport du phosétyl-Al et son métabolite chez la tomate (Lycopersicon esculentum Mill.)	Agronomie, (1985) Vol. 5, Issue 5, pp. 423-430	EFSA	dRAR (2018)	

JMPR Part II (2017) : 4 の 5)、 dRAR(2018) : 4 の 1)。

表 6 (続き)

リスト No.	文献ファ イル名	データ要求 (項目番号)	著者	出版 年	論文表題	掲載誌名、号、 ページ等	評価機関	評価書情報 (発行年等)	備考
9-3	M- 200275- 01-1	II 6.2.1	Pelegri, R; Gamon, M; Coscolla, R; Beltran, V; Cunat, P	1993	The Metabolism of Fosetyl-Aluminium and the Evolution of Residue Levels in Oranges and Tangerines.	Pestic. Sci., (1993) Vol. 39, Issue 4, pp. 319-323	EFSA, JMPR	dRAR (2018), JMPR Part I (2017)	
9-4	M- 484511- 01-1	II 8.2.3	Ma, Jianyi; Tong, Senmiao; Wang, Pinwei; Chen, Jianmeng	2011	Differential toxicity of agricultural fungicides toward three cyanobacterial and five green algal species	Asian Journal of Chemistry (2011), 23(2), 533-536	EFSA	dRAR (2018)	dRAR 中の RMS コメント : This study from the public literature is not detailed enough and the results from this publication could not be included in the risk assessment. Indeed, the purity of the tested material is not stated, only the EC50 are indicated in the report and the raw data included the growth of controls are not available.
9-5	M- 845901- 01-1	II 8	Raimondo, Sandy; Montague, Brian J.; Barron, Mace G.	2007	Determinants of variability in acute to chronic ratios for aquatic invertebrates and fish.	Environmental Toxicology and Chemistry (2007), 26(9), 2019-2023	EPA	EPA (2014)	水生無脊椎動物における急性及び慢性の 毒性比を一般的に調べたもの
9-6	M- 234773- 01-1	II 7.1	Adams, F; Conrad, JP	1953	Transition of phosphite to phosphate in soils.	Soil Sci., (1953) Vol. 75, Issue 5, pp. 361- 371	EFSA, JMPR	dRAR (2018), JMPR Part I (2017)	
9-7	M- 234780- 01-1	II 7.1	Chang, S. C.; Jackson, M. L.	1957	Fractionation of soil phosphorus	Soil Science (1957), 84, 133-44	EFSA	dRAR (2018)	
9-8	M- 234777- 01-1	II 7.1	Casida, Le	1960	Microbial oxidation and utilization of orthophosphite during growth	J. Bacteriol., (1960) Vol. 80, Issue 2, pp. 237-241	EFSA	dRAR (2018)	
9-9	M- 234784- 01-1	II 7.1	Malacinski, G; Konetzka, Wa	1966	Bacterial oxidation of orthophosphite	J. Bacteriol., (1966) Vol. 91, Issue 2, pp. 578-+	EFSA	dRAR (2018)	
9-10	M- 234787- 01-1	II 7.1	Mcdonald, Ae; Grant, Br; Plaxton, Wc	2001	Phosphite (phosphorous acid): Its relevance in the environment and agriculture and influence on plant phosphate starvation response	J. Plant Nutr., (2001) Vol. 24, Issue 10, pp. 1505-1519	EFSA	dRAR (2018)	

dRAR(2018) : 4 の 1)、 JMPR Part I (2017) : 4 の 4)、 EPA (2014) : 4 の 3)。

表 6 (続き)

リスト No.	文献ファ イル名	データ要求 (項目番号)	著者	出版 年	論文表題	掲載誌名、号、 ページ等	評価機関	評価書情報 (発行年等)	備考
9-11	M- 516523- 01-1	II 7.3	Kumar, R. Anil; Velayudhan, K. T.; Vasu, K.; Ramachandran, V.; Bhai, R. Susheela; Unnikrishnan, G.	2005	Interaction of potassium phosphonate fungicide in laterite soil	Journal of Environmental Science and Engineering (2005), 47(4), 276-285	EFSA	dRAR (2018)	
9-12	M- 234783- 01-1	II 7.5	Hebert, Vr; Miller, Gc	1990	Depth dependence of direct and indirect photolysis on soil surfaces	J. Agric. Food Chem., (1990) Vol. 38, Issue 3, pp. 913- 918	EFSA	dRAR (2018)	
9-13	M- 234789- 01-1	II 7.5	Mill, T	1999	Predicting photoreaction rates in surface waters	Chemosphere, (1999) Vol. 38, Issue 6, pp. 1379-1390	EFSA	dRAR (2018)	
9-14	M- 845905- 01-1	II 7.5	Lesueur, Celine; Pfeffer, Michael; Fuerhacker, Maria.	2005	Photodegradation of phosphonates in water	Chemosphere, Volume 59, Issue 5, Page 685-691, Publication Year 2005	EFSA	dRAR (2018)	dRAR では以下の理由で第一段階で適合性 なしと判断されている: In this study the degradation of phosphonates is measured by the release of orthophosphates (PO ₄ -P) and aminomethylphosphonic acid (AMPA). The study shows that phosphonates are substances that undergo UV light conversion, which is enhanced in the presence of iron.
9-15	M- 845907- 01-1	II 7	Kirstine, Wv; Galbally, Ie	2012	The global atmospheric budget of ethanol revisited	Atmos. Chem. Phys., (2012) Vol. 12, Issue 1, pp. 545-555	EFSA	dRAR (2018)	
9-16	M- 487573- 01-1	II 7	Mico, Maria M.; Zapata, Ana; Maldonado, Manuel I.; Bacardit, Jordi; Malfeito, Jorge; Sans, Carme	2014	Fosetyl - Al photo-Fenton degradation and its endogenous catalyst inhibition	Journal of Hazardous Materials (2014), 265, 177-184	EFSA	dRAR (2018)	

dRAR(2018) : 4 の 1)。

別表

別表 1. 適合性評価の第 2 段階で「適合しない」と判断された文献とその理由

リスト No.	分野	著者	出版 年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は 3 参照)
1-1	ヒトに対する毒性	Bianco, Graciela Eugenia; Suarez, Eva; Cazon, Lauro; De La Puente, Teresita Beatriz; Ahrendts, Marcelo Rafael Benitez; De Luca, Julio Cesar	2017	Prevalence of chromosomal aberrations in Argentinean agricultural workers	Environmental Science and Pollution Research (2017), 24(26), 21146-21152	農薬暴露とリンパ球染色体異常及び赤血球コリンエステラーゼ阻害の相関を調べた文献、個別の有効成分についての曝露情報がない。
1-2	ヒトに対する毒性	Requena, Mar; Parron, Tesifon; Navarro, Angela; Garcia, Jessica; Ventura, Maria Isabel; Hernandez, Antonio F.; Alarcon, Raquel	2018	Association between environmental exposure to pesticides and epilepsy	NeuroToxicology (2018), 68, 13-18	農薬使用の多い地域と小児てんかんの相関を調べた文献、個別の有効成分についての曝露情報がない。
1-3	ヒトに対する毒性	Lermen, Joice; Bernieri, Tanandra; Rodrigues, Isabel S.; Suyenaga, Edna S.; Ardenghi, Patricia G.	2018	Pesticide exposure and health conditions among orange growers in Southern Brazil	Journal of Environmental Science and Health, Part B: Pesticides, Food Contaminants, and Agricultural Wastes (2018), 53(4), 215-221	ブラジルのかんきつ生産者 73 人について血液学的検査を行い、作業時の防護装備、労働時間、作業内容、生活習慣等を調査した文献。生産者が使用した農薬（42 種類）の 1 つにホセチル製剤が含まれており⑩。
1-4	ヒトに対する毒性	Baldassarre, Francesca; Tatulli, Giuseppe; Vergaro, Viviana; Mariano, Stefania; Scala, Valeria; Nobile, Concetta; Pucci, Nicoletta; Dini, Luciana; Loreti, Stefania; Ciccarella, Giuseppe	2020	Sonication-assisted production of fosetyl - Al nanocrystals: investigation of human toxicity and in vitro antibacterial efficacy against Xylella fastidiosa	Nanomaterials (2020), 10(6), 1174	in vitro で HaCat 細胞を用いた MTT アッセイでホセチル及びそのナノ粒子の細胞毒性を見ているのみ。
1-5	農産物及び畜産物への残留	Lopez-Blanco, Rafael; Moreno-Gonzalez, David; Nortes-Mendez, Rocio; Garcia-Reyes, Juan F.; Molina-Diaz, Antonio; Gilbert-Lopez, Bienvenida	2018	Experimental and theoretical determination of pesticide processing factors to model their behavior during virgin olive oil production.	Food Chemistry, (15 Jan 2018) Vol. 239, pp. 9-16. Refs: 25 ISSN: 0308-8146; E-ISSN: 1873-7072 CODEN: FOCHDJ	オリーブからオリーブオイルへの加工係数を調査している文献。国内でオリーブに登録取得していない。暴露評価における推定摂取量の精緻化に使用しない。

別表 1 (続き)

リスト No.	分野	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は 3 参照)
1-6	農産物及び畜産物への残留	Vallejo, Asier; Millan, Laura; Abrego, Zurine; Sampedro, M. Carmen; Sanchez-Ortega, Alicia; Unceta, Nora; Gomez-Caballero, Alberto; Goicolea, M. Aranzazu; Diez-Navajas, Ana M.; Barrio, Ramon J.	2019	Fungicide distribution in vitiviniculture ecosystems according to different application strategies to reduce environmental impact	Science of the Total Environment (2019), 687, 319-329	ぶどうに処理し、環境中及び作物中の残留を調査した文献。ぶどう berry 及び must での残留値が報告されているが、処理製剤の種類・使用回数が日本と異なるため⑩。暴露評価における推定摂取量の精緻化には使用しない。
1-7	農産物及び畜産物への残留	Gormez, Emrah; Golge, Ozgur; Kabak, Bulent	2021	Quantification of fosetyl - aluminium /phosphonic acid and other highly polar residues in pomegranates using Quick Polar Pesticides method involving liquid chromatography-tandem mass spectrometry measurement.	Journal of Chromatography A, (APR 12 2021) Vol. 1642, pp. Article No.: 462038. http://www.journals.elsevier.com/journal-of-chromatography-a/#description .	トルコで栽培した輸出用ザクロの残留分析。国内でザクロに登録取得していない。薬剤処理等の情報が無く⑩d。
1-8	農産物及び畜産物への残留	Smriti Sharma; Neeraj Sharma; Kousik Mandal; Sahoo, S. K.; Sharma, S.; Sharma, N.; Mandal, K.	2021	Residue studies of fosetyl aluminium in Citrus fruit on LC-MS/MS.	Agricultural Research Journal (2021) , Volume 58, Number 1, pp. 93-98, 13 refs. ISSN: 2395-1435; 2395-146X DOI: https://doi.org/10.5958/2395-146X.2021.00014.4 Published by: Punjab Agricultural University, Ludhiana	80%水和剤を有効成分濃度 3.2～6.4 g ai/L で 5 回処理しており、日本の使用量とは異なるため、⑩。
1-9	農産物及び畜産物への残留	Gormez, Emrah; Golge, Ozgur; Gonzalez-Curbelo, Miguel Angel; Kabak, Bulent	2023	Monitoring and Exposure Assessment of Fosetyl Aluminium and Other Highly Polar Pesticide Residues in Sweet Cherry	Molecules (2023), 28(1), 252	12 農薬を対象としたトルコで栽培したおうとうの残留分析。薬剤処理等の情報が無く⑩d。

別表 1 (続き)

リスト No.	分野	著者	出版 年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は 3 参照)
1-10	生活環境 動植物及 び家畜に 対する毒 性	Stoyanova, Stela; Yancheva, Vesela Slavcheva; Velcheva, Iliana; Uchikova, Ekaterina; Georgieva, Elenka	2015	Histological alterations in common carp (Cyprinus carpio Linnaeus, 1758) Gills as potential biomarkers for fungicide contamination	Brazilian Archives of Biology and Technology (2015), 58(5), 757-764	暴露によるコイの病理学的変化を調べたもので、死亡を見たものではない。
1-11	生活環境 動植物及 び家畜に 対する毒 性	Yancheva V; Velcheva I; Stoyanova, S.; Iliev, I.; Vasileva, T.; Bivolarski V; Uchikova, E.; Georgieva, E.	2016	TOXICITY OF TWO ORGANOPHOSPHOROUS PESTICIDES ON BIGHEAD CARP (ARISTICHTHYS NOBILIS RICHARDSON, 1845) LIVER.	Applied Ecology and Environmental Research, (2016) Vol. 14, No. 1, pp. 397-410. http://www.aloki.hu . ISSN: 1589-1623. E-ISSN: 1785- 0037.	コクレンの肝臓及び酵素への影響を調べており死亡を見たものではない。⑩b
1-12	生活環境 動植物及 び家畜に 対する毒 性	Stoyanova, Stela; Georgieva, Elenka; Velcheva, Iliana; Yancheva, Vesela	2019	Histochemical Alterations in Bighead Carp (Hypophthalmichthys nobilis Richardson, 1845) Liver Under Two Pesticides Exposure: A Comparative Study.	Ecologia Balkanica, (DEC 2019) Vol. 11, No. 2, pp. 63-71. http://eb.bio.uni- plovdiv.bg/ . ISSN: 1314- 0213. E-ISSN: 1313-9940.	コクレンの肝臓の脂質蓄積に関する研究であり死亡を見たものではない。⑩b
1-13	生活環境 動植物及 び家畜に 対する毒 性	Yancheva, Vesela S.; Velcheva, Iliana G.; Georgieva, Elenka S.; Stoyanova, Stela G.	2019	Periodic Acid - Schiff (PAS) Reaction in Fish Liver Exposed to Fungicide Contamination: A Possible Histochemical Biomarker.	Ecologia Balkanica, (JUN 2019) Vol. 11, No. 1, pp. 1-10. http://eb.bio.uni- plovdiv.bg/ . ISSN: 1314- 0213. E-ISSN: 1313-9940.	コクレンの肝臓の病理学的変化を調べており死亡を見たものではない。⑩b
1-14	生活環境 動植物及 び家畜に 対する毒 性	Stoyanova, Stela; Nyeste, Krisztian; Georgieva, Elenka; Uchikov, Petar; Velcheva, Iliana; Yancheva, Vesela Stoyanova, Stela; Georgieva, Elenka Velcheva, Iliana; Yancheva, Vesela Nyeste, Krisztian Uchikov, Petar	2020	Toxicological impact of a neonicotinoid insecticide and an organophosphorus fungicide on bighead carp (Hypophthalmichthys nobilis Richardson, 1845) gills: a comparative study	NORTH-WESTERN JOURNAL OF ZOOLOGY, (2020 JUN 2020) Vol. 16, No. 1, pp. 64-73. ISSN: 1584-9074.	コクレンのエラの病理学的影響を調べており死亡を見たものではない。⑩b
1-15	生活環境 動植物及 び家畜に 対する毒 性	Barreto, Angela; Santos, Joana; Amorim, Monica J. B.; Maria, Vera L.	2021	Is the Synthetic Fungicide Fosetyl - Al Safe for the Ecotoxicological Models Danio rerio and Enchytraeus crypticus?	Applied Sciences (2021), 11(16), 7209	ニジマスの慢性、繁殖性に関する影響を調べているが、死亡を見たものではない。

別表 1 (続き)

リスト No.	分野	著者	出版 年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は 3 参照)
1-16	生活環境 動植物及 び家畜に 対する毒 性	Corapi, Anna; Gallo, Luana; Lucadamo, Lucio	2023	Simulation of Drift Depositional Rate of the Fungicide Fosetyl and Its Effects on Non-vascular Plants: Study Case of the Epiphytic Lichen Pseudevernia furfuracea	Archives of Environmental Contamination and Toxicology (2023), 84(1), 73-84	地衣類への影響であり⑩b。
1-17	環境毒性	Gosset, Antoine; Durrieu, Claude; Barbe, Pauline; Bazin, Christine; Bayard, Remy	2019	Microalgal whole-cell biomarkers as sensitive tools for fast toxicity and pollution monitoring of urban wet weather discharges	Chemosphere (2019), 217, 522-533	フランスにおける降水後の表面水を用いた毒性試験であり個別 農薬の評価に利用できない。また表面水中のホセチル分析値は 日本の使用方法、使用条件に適合しないため⑩。
1-18	環境毒性	Melin, Jodie; Guillon, Amelie; Enault, Jerome; Esperanza, Mar; Dauchy, Xavier; Bouchonnet, Stephane	2020	How to select relevant metabolites based on available data for parent molecules: Case of neonicotinoids, carbamates, phenylpyrazoles and organophosphorus compounds in French water resources	Environmental Pollution (Oxford, United Kingdom) (2020), 265(Part_B), 114992	環境モニタリングすべき代謝物の優先順位付けの方法論であり ⑩。

別表2. dRARに引用されている文献のうち「適合しない」と判断された文献

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
1	Lantzy, Rj; Mackenzie, Ft	1979	Atmospheric trace metals: global cycles and assessment of man's impact	Geochim. Cosmochim. Acta, (1979) Vol. 43, Issue 4, pp. 511-525	金属の環境中における循環に関してであり①
2	Ana R. Cabrera, A.R., Cloyd, R.A., Zaborski, E.R.	2004	Effects of greenhouse pesticides on the soil-dwelling predatory mite Stratiolaelaps scimitus (Acari: Mesostigmata: Laelapidae) under laboratory conditions.	Journal of Economic Entomology 97(3):793-9. 2004	捕食性ダニへの影響であり⑥b
3	Kunca, A.; Leontovyc, R. Editor(S): Oszako, T.	2004	Occurrence of Phytophthora spp. on forest trees in Slovakia.	Phytophthora in nurseries and forest stands, Skierniewice, Poland, 2004 (2005) , pp. 41-45, 7 refs. ISBN: 83-87647-45-4 Published by: Instytut Badawczy Lesnictwa (Forest Research Institute), Warszawa Conference: Phytophthora in nurseries and forest stands, Skierniewice, Poland, 2004.	スロバキア森林の疫病菌被害に関する論文であり、4分野に関係しないため、③
4	Gallert, Claudia [Reprint Author]; Winter, Josef	2005	Bacterial Metabolism in Wastewater Treatment Systems.	Jordening, HJ [Editor]; Winter, J [Editor]. (2005) pp. 1-48. Environmental Biotechnology: Concepts and Applications. Publisher: BLACKWELL SCIENCE PUBL, OSNEY MEAD, OXFORD OX2 0EL, UK. ISBN: 978-3-527-60428-9(P).	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
5	Orlikowski, Leszek B. [Reprint Author]	2005	Biological and chemical control of Phytophthora ramorum.	Oszako, T [Editor]. (2005) pp. 71-74. Phytophthora spp. in Nurseries and Forest Stands. Publisher: FOREST RESEARCH INSTITUTE, WARSAW, 3 BITWY WARSZAWSKIEJ 1920 R, WARSAW, 00-973, POLAND. Meeting Info.: 1st International Conference on Phytophthora in Forest Nurseries and Stands. Jedlnia, POLAND. October 25 -26, 2004. European Commiss; Forest Res Inst, Ctr Excellence PROFOREST; Gen Directorate State Forests; Inst Pomol and Floriculture; Polish Phytopathol Soc; Qual Life and Management Living Resources. ISBN: 83-87647-45-4(S).	薬効薬害に関する論文のため、④
6	Mournighan, R; Dudzinska, Mr; Barich, J; Gonzalez, Ma; Black, Rk	2005	Chemistry for the protection of the environment	Mournighan, R; Dudzinska, MR; Barich, J; Gonzalez, MA; Black, RK. Environ. Sci. Res., (2005) CHEMISTRY FOR THE PROTECTION OF THE ENVIRONMENT 4, Publisher: SPRINGER, 233 SPRING STREET, NEW YORK, NY 10013, UNITED STATES. Series: Environmental Science Resear	成書であり⑧。
7	Matheron, M. [Reprint Author]; Porchas, M.	2005	Comparative performance of chemical management tools for downy and powdery mildew of lettuce.	Phytopathology, (JUN 2005) Vol. 95, No. 6, Suppl. S, pp. S67. Meeting Info.: Annual Meeting of American-Phytopathological-Society. Austin, TX, USA. July 30 -August 03, 2005. Amer Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
8	Cloyd, R.	2005	Compatibility conflict: is the use of biological control agents with pesiticides a viable management strategy? USDA Forest Service Publication FHTET-2005-08	Second International Symposium on Biological Control of Arthropods, Davos, Switzerland, 12-16 September, 2005 (2005) , pp. 546-554, 36 refs. Published by: United States Department of Agriculture, Forest Service, Washington Conference: Second International Symposium on Biological Control of Arthropods, Davos, Switzerland, 12-16 September, 2005.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
9	Brannen, P. [Reprint Author]; Stanaland, D.	2005	Dipotassium phosphonate, dipotassium phosphate, and potassium phosphite materials for control of Septoria and anthracnose leaf spots of blueberry.	Phytopathology, (JUN 2005) Vol. 95, No. 6, Suppl. S, pp. S13. Meeting Info.: Annual Meeting of American-Phytopathological-Society. Austin, TX, USA. July 30 -August 03, 2005. Amer Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
10	Di Marco, S. [Reprint Author]; Osti, F.	2005	Effect of fosetyl AI foliar applications towards esca fungi in grapevine.	Phytopathologia Mediterranea, (APR 2005) Vol. 44, No. 1, pp. 114-115. Meeting Info.: 4th International Workshop on Grapevine Trunk Diseases. Stellenbosch, SOUTH AFRICA. January 20 -21, 2005. Int Council Grapevine Trunk Dis; So African Soc plant Pathol; S African Soc Enol and Viticulture.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
11	Bouvier, Jean-Charles; Toubon, Jean-Francois; Boivin, Thomas; Sauphanor, Benoit.	2005	Effects of apple orchard management strategies on the great tit (<i>Parus major</i>) in Southeastern France.	Environ. Toxicol. Chem., Volume 24, Issue 11, Page 2846-2852, Publication Year 2005	フランスのリンゴ園における各種農薬の使用によるシジュウカラに対する影響を調べているが、ホセチル以外の農薬も使用されていることからホセチルによる影響は検証できず、ホセチルへの暴露量も不明である。⑫、⑬、⑭
12	Becktell, M C; Daughtrey, M L; Fry, W E	2005	Epidemiology and management of <i>Petunia</i> and tomato late blight in the greenhouse.	Plant disease (2005) , Volume 89, Number 9, pp. 1000-1008 ISSN: 0191-2917 Source Note: 2005 Sept., v. 89, no. 9	薬効薬害に関する論文のため、④
13	Kirkland, David; Aardema, Marilyn; Henderson, Leigh; Mueller, Lutz.	2005	Evaluation of the ability of a battery of three in vitro genotoxicity tests to discriminate rodent carcinogens and non-carcinogens. I. Sensitivity, specificity and relative predictivity.	Mutat. Res., Genet. Toxicol. Environ. Mutagen., Volume 584, Issue 1-2, Page 1-256, Publication Year 2005	数多くの化学物質が検証されておりホセチルはその一つとしてAmes陰性であることが他文献から引用されているのみ
14	Kirkland, David; Aardema, Marilyn; Henderson, Leigh; Mueller, Lutz	2005	Evaluation of the ability of a battery of three in vitro genotoxicity tests to discriminate rodent carcinogens and non-carcinogens. I. Sensitivity, specificity and relative predictivity. [Erratum to document cited in CA143:243161]	Mutation Research, Genetic Toxicology and Environmental Mutagenesis (2005), 588(1), 70	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
15	Creasy, Glen L. [Reprint Author]; Qi., Guimei	2005	Grapevine leaf and fruit tissue responses to fosetyl - Al and UV radiation.	American Journal of Enology and Viticulture, (2005) Vol. 56, No. 3, pp. 303A. Meeting Info.: 56th Annual Meeting of the American-Society-Enology-and-Viticulture. Seattle, WA, USA. June 22 -24, 2005. Amer Soc Entol and Viticulture.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
16	Ma, Jianyi; Chen, Jianmeng	2005	How to accurately assay the algal toxicity of pesticides with low water solubility	Environmental Pollution (Amsterdam, Netherlands) (2005), 136(2), 267-273	クロレラに対する影響を調べており⑬b.
17	Anita Sharma; Bhardwaj, L. N.; Meenu Gupta; Sharma, A.; Gupta, M.	2005	Leather rot of strawberry and its management - a review.	Agricultural Reviews (2005) , Volume 26, Number 1, pp. 59-66 ISSN: 0253-1496 Published by: Agricultural Research Communication Centre, Karnal	薬効薬害に関する論文のため、④
18	Plenchette, C. [Reprint Author]; Clermont-Dauphin, C.; Meynard, J. M.; Fortin, J. A.	2005	Managing arbuscular mycorrhizal fungi in cropping systems	Canadian Journal of Plant Science, (JAN 2005) Vol. 85, No. 1, pp. 31-40.	農業における菌根の役割についてであり①。
19	Malusa, E.; Tosi, L.	2005	Phosphorous acid residues in apples after foliar fertilization: results of field trials.	Food Addit. Contam., Volume 22, Issue 6, Page 541-548, Publication Year 2005	80%WDGの2.5g/L散布液をりんごに茎葉散布（年2回×1年または年2回×3年）し、各年の垂リン酸の残留濃度を調査した文献。国内登録の80%WPの散布濃度（800倍希釈＝1.25g/L）と異なるため、⑭
20	Sannigrahi, Poulomi; Ingall, Ellery	2005	Polyphosphates as a source of enhanced P fluxes in marine sediments overlain by anoxic waters: evidence from ³¹ P NMR	Geochemical Transactions (2005), 6(3), 52-59	The investigation does not allow attributing the observations made to the substance of concern (e.g.mixture of substances, origin of exposure unclear).
21	Rebollar-Alviter, A. [Reprint Author]; Madden, L.; Ellis, M.	2005	Pre-and post-infection activity of azoxystrobin, pyraclostrobin, mefenoxam, and potassium phosphite against leather rot of strawberry.	Phytopathology, (JUN 2005) Vol. 95, No. 6, Suppl. S, pp. S87. Meeting Info.: 97th Annual Meeting of American-Phytopathological-Society. Austin, TX, USA. July 30 -August 03, 2005. Amer Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
22	Fischer, Klaus.	2005	Reactions of phosphonic acids at the solid-water interface.	ACS Symp. Ser., Volume 910, Issue Biogeochemistry of Chelating Agents, Page 234-247, Publication Year 2005	The article deals with phosphonic acids containing a carbon atom directly linked to phosphorus. Obviously, this type of bond and compounds is not relevant in case of phosphonic acid esters (fosetyl) and the non-carbon containing phosphonic acid. Conclusively, the publication should have been evaluated as 'The article does not contain information related to the substance of concern.
23	Hanrahan, Grady; Salmassi, Tina M.; Khachikian, Crist S.; Foster, Krishna L.	2005	Reduced inorganic phosphorus in the natural environment: significance, speciation and determination.	Talanta, Volume 66, Issue 2, Page 435-444, Publication Year 2005	環境中のリン減少に関するものであり①。
24	Deepak, SA; Chaluvaraju, G.; Basavaraju, P.; Amuthesh, Kn; Shekar Shetty, H.; Oros, G.	2005	Response of pearl millet downy mildew (<i>Sclerospora graminicola</i>) to diverse fungicides	International Journal of Pest Management (2005), 51(1), 7-16	薬効薬害に関する論文のため、④

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
25	Shishkoff, N. [Reprint Author]	2005	The effect of systemic fungicides on detection by culturing of <i>Phytophthora ramorum</i> .	Phytopathology, (JUN 2005) Vol. 95, No. 6, Suppl. S, pp. S96. Meeting Info.: 97th Annual Meeting of American-Phytopathological-Society, Austin, TX, USA. July 30 -August 03, 2005. Amer Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
26	Tahara, Maiko; Kubota, Reiji; Nakazawa, Hiroyuki; Tokunaga, Hiroshi; Nishimura, Tetsuji	2005	Use of cholinesterase activity as an indicator for the effects of combinations of organophosphorus pesticides in water from environmental sources	Water Research (2005), 39(20), 5112-5118	有機リン系農薬について、in vitro で血清コリンエステラーゼ (pseudochoinesterase) の阻害能を検討した文献。ちなみにホセチルは有機リン系農薬の一つとして対象となっているが、有機リン系殺虫剤の作用機作を持たず、in vivo で脳や赤血球アセチルコリンエステラーゼの阻害能はない。
27	Scancar, J.; Milacic, R.	2006	Aluminium speciation in environmental samples: A review	Analytical and Bioanalytical Chemistry, (2006) Vol. 386, Issue 4, pp. 999-1012	AIの過去10年間の分析法と新しい傾向のレビューであり①
28	Dean, M.; Guerrini, P.; Paci, F. Editor(S): Brunelli, A.; Canova, A.; Collina, M.	2006	Compatibility of the antagonistic bacterium <i>Bacillus subtilis</i> BSF4 with fungicides and insecticides. Compatibilit� del batterio antagonista <i>Bacillus subtilis</i> ceppo BSF4 con fungicidi e insetticidi.	Giornate Fitopatologiche 2006, Riccione (RN), 27-29 marzo 2006. Atti, volume secondo (2006), pp. 437-442, 12 refs. Published by: Universita di Bologna, Bologna Conference: Phytopathological Meeting 2006, Riccione (RN), 27-29 March 2006. Proceedings, second volume.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
29	Nowack, B; Stone, At	2006	Competitive adsorption of phosphate and phosphonates onto goethite	Water Res., (2006) Vol. 40, Issue 11, pp. 2201-2209	ホスホン酸がリン酸の吸着を抑えることに 関してであり①。
30	Marco, S. Di; Mugnai, L.; Di Marco, S. Editor(S): Lozzia, G. C.	2006	Control of esca of grapevine in Italy: what we can learn from past experience in view of an integrated management approach.	Bulletin OILB/SROP (2006) , Volume 29, Number 11, pp. 113-117, 12 refs. Published by: International Organization for Biological and Integrated Control of Noxious Animals and Plants (OIBC/OILB), West Palaearctic Regional Section (WPRS/SROP), Dijon Conference: Working Group on /Integrated Protection in Viticulture/, Proceedings of a Meeting at Boario Terme (Italy), 20-22 October 2005. URL (Availability): http://www.iobc-wprs.org	薬効薬害に関する論文のため、④
31	Benson, D M; Sidebottom, J R; Moody, J	2006	Control of <i>Phytophthora</i> Root Rot in Field Plantings of Fraser Fir with Fosetyl - AI and Mefenoxam	Plant health progress (2006) ISSN: 1535-1025 Published by: Plant Management Network Source Note: 2006	薬効薬害に関する論文のため、④
32	Dluzniewska, Joanna	2006	Effect of fungicides on efficiency of microbiological dressing of pea seeds (<i>Pisum sativum</i> L.) against pathogenic soil fungi	Ecological Chemistry and Engineering (2006), 13(7), 629-633	薬効薬害に関する論文のため、④
33	Gagnaire, B.; Burgeot, T.; Geret, F.; Thomas-Guyon, H.; Renault, T. Editor(S): Feunteun, E.; Miramand, P.	2006	Effect of heavy metals and herbicides on immune capacities in Pacific oyster, <i>Crassostrea gigas</i> .	Cahiers de Biologie Marine (2006) , Volume 47, Number 1, pp. 105-107, 7 refs. ISSN: 0007-9723 Published by: Station Biologique, Roscoff Conference: Colloquium: Ecological functioning of salt marsh estuarine systems and human societies. Workshop Zones programme of the CNRSs Environment Life and Societies Programme (PEVS): the Mont Saint-Michel bay and its catchments and Mudflats of Brouage (Charente maritime), La Rochelle, France, November 3-4, 2003. URL (Availability): http://www.sb-roscoff.fr/CBM/	マガキに対する影響であり⑩b
34	Beatrice, Gagnaire [Reprint Author]; Tristan, Renault; Helene, Thomas-Guyon; Thierry, Burgeot	2006	Effect of in vivo pollutant exposure and pathogen injection on phagocytosis gene expression in the pacific oyster, <i>Crassostrea gigas</i> .	Marine Environmental Research, (2006) Vol. 62, No. Suppl. S, pp. S371-S372. Meeting Info.: 13th International Symposium on Pollutant Responses in Marine Organisms (PRIMO 13). Alessandria, ITALY. June 19 -23, 2005.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
35	Barbar, Ziad [Reprint Author]; Tixier, Marie-Stephane; Cheval, Brigitte; Kreiter, Serge	2006	Effects of agroforestry on phytoseiid mite communities (Acari : Phytoseiidae) in vineyards in the South of France.	Experimental and Applied Acarology, (DEC 2006) Vol. 40, No. 3-4, pp. 175-188.	カブリダニのコミュニティーに対する影響。The investigation does not allow attributing the observations made to the substance of concern (e.g.mixture of substances, origin of exposure unclear)
36	Schroetter, Susanne; Angeles-Wedler, Dalia; Kreuzig, Robert; Schnug, Ewald.	2006	Effects of phosphite on phosphorus supply and growth of corn (<i>Zea mays</i>).	Landbauforsch. Voelkenrode, Volume 56, Issue 3/4, Page 87-99, Publication Year 2006	亜リン酸カリウムのリン供給源としての効果を調査した文献であり、①及び④
37	Broschat, Timothy K.	2006	Effects of phosphorous and phosphoric acids on growth and phosphorus concentrations in container-grown tropical ornamental plants.	HortTechnology, Volume 16, Issue 1, Page 105-108, Publication Year 2006	観葉植物の成長に対する亜リン酸及びリン酸肥料の効果を調査した文献であり、①及び④

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
38	Kelderer, M.; Matteazzi, A.; Casera, C. Editor(S): Foerdergemeinschaft Oekologischer Obstbau E. V.	2006	Effects of the period of application of K - phosphite on residues on apple fruits . Nebenwirkungen auf den Fruchtansatz der Behandlungen von Schwefelkalk in die Blüte mit der Beregnung bzw. mit dem Sprueher.	Ecofruit. 12th International Conference on Cultivation Technique and Phytopathological Problems in organic Fruit-Growing. Proceedings of the conference, Weinsburg, Germany, 31 January - 2 February 2006 (2006) , pp. 225-227, 3 refs. ISBN: 3-9804883-5-7 Published by: Foerdergemeinschaft Oekologischer Obstbau e.V. (FOeKO), Weinsburg Conference: Ecofruit. 12th International Conference on Cultivation Technique and Phytopathological Problems in organic Fruit-Growing. Proceedings of the conference, Weinsburg, Germany, 31 January - 2 February 2006.	亜リン酸カリウムを処理したりんごの残留に関する論文であり、①
39	Javaid, Arshad [Reprint Author]; Ashraf, Asma; Akhtar, Naureen; Hanif, M.; Farooq, M. Asad	2006	Efficacy of some fungicides against seed-borne mycoflora of wheat.	Mycopath, (2006) Vol. 4, No. 1, pp. 45-49. ISSN: 1729-5521.	菌類相への影響であり④。
40	Andreu, Adriana B.; Guevara, Maria G.; Wolski, Erika A.; Daleo, Gustavo R.	2006	Enhancement of natural disease resistance in potatoes by chemicals	Pest Management Science (2006), 62(2), 162-170	薬効薬害に関する論文のため、④
41	Raid, R. N. [Reprint Author]	2006	Evaluation of assorted foliar fungicides for control of downy mildew of Chinese broccoli.	Phytopathology, (JUN 2006) Vol. 96, No. 6, Suppl. S, pp. S95-S96. Meeting Info.: Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society Joint with the Canadian-Phytopathological-Society/Mycological-Society-of-America. Quebec City, CANADA. July 29 - August 02, 2006. Amer Phytopathol Soc; Canadian Phytopathol Soc; Mycol Soc Amer.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
42	Mayton, H. [Reprint Author]; Fry, W. E.	2006	Evaluation of phosphonate fungicides for control of foliar and tuber late blight of potato.	Phytopathology, (JUN 2006) Vol. 96, No. 6, Suppl. S, pp. S186-S187. Meeting Info.: Joint Meeting of the Southern Division of the American-Phytopathological-Society/Southern-Association-of-Agricultural-Scientists. Orlando, FL, USA. February 05 -07, 2006. Amer Phytopathol Soc, So Div; So Assoc Agr Scientists.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
43	Laitinen, Pirkko; Siimes, Katri; Erönen, Liisa; Ramo, Sari; Welling, Leena; Oinonen, Seija; Mattsoff, Leona; Ruohonen-Lehto, Marja.	2006	Fate of the herbicides glyphosate, glufosinate-ammonium, phenmedipham, ethofumesate and metatriton in two Finnish arable soils	Pest Manage. Sci., Volume 62, Issue 6, Page 473-491, Publication Year 2006	グリホサート等の5つの除草剤の土壌動態であり①。
44	Tredway, L. P. [Reprint Author]; Butler, E. L.; Franklin, R. B.	2006	Impact of phosphonate and contact fungicides on the quality of creeping bentgrass putting greens.	Phytopathology, (JUN 2006) Vol. 96, No. 6, Suppl. S, pp. S115. Meeting Info.: Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society Joint with the Canadian-Phytopathological-Society/Mycological-Society-of-America. Quebec City, CANADA. July 29 - August 02, 2006. Amer Phytopathol Soc; Canadian Phytopathol Soc; Mycol Soc Amer.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
45	Aguin, Olga; Mansilla, J. Pedro; Sainz, Maria J.	2006	In vitro selection of an effective fungicide against Armillaria mellea and control of white root rot of grapevine in the field	Pest Management Science (2006), 62(3), 223-228	薬効薬害に関する論文のため、④
46	Roldan-Tapia, Lola; Nieto-Escamez, Francisco A.; Del Aguila, Eva M.; Laynez, Francisco; Parron, Tesifon; Sanchez-Santed, Fernando	2006	Neuropsychological sequelae from acute poisoning and long-term exposure to carbamate and organophosphate pesticides	Neurotoxicology and Teratology (2006), 28(6), 694-703	有機リン及びカーバメートの急性中毒や慢性的に農薬使用により曝露を受ける農家の血清ブチルコリンエステラーゼ及び神経心理学的機能に及ぼす影響を調査。個別の有効成分とこれら影響の相関については解析されていない。ちなみにホセチルは有機リン系農薬の一つとして対象となっているが、有機リン系殺虫剤の作用機作を持たず、in vivoで脳や赤血球アセチルコリンエステラーゼの阻害能はない。

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
47	Top, F.; Latorse, M. P.	2006	New findings about fosetyl - Al mode of action. Nouveaux elements sur le mode d'action du fosetyl - Al .	8eme Conference Internationale sur les Maladies des Plantes, Tours, France, 5 et 6 Decembre, 2006 (2006) , pp. 706-708, 10 refs. Published by: Association Francaise de Protection des Plantes (AFPP), Alfortville Conference: 8eme Conference Internationale sur les Maladies des Plantes, Tours, France, 5 et 6 Decembre, 2006.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
48	Salghi, R.; Hormatallah, A.; Bazzi, L.	2006	Persistence of pesticides applied pre-harvest on citrus fruits	Analytical Chemistry: An Indian Journal (2006), 2(4), 144-149	モロッコで栽培したオレンジの残留分析、残留の消長を調査した文献。ホセチルの薬剤処理に関する情報が無く⑩d。
49	Daniel, R. [Reprint Author]; Guest, D. I.	2006	Phosphite induces defence responses in Arabidopsis thaliana challenged with Phytophthora palmivora.	Phytopathology, (JUN 2006) Vol. 96, No. 6, Suppl. S, pp. S28. Meeting Info.: Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society Joint with the Canadian-Phytopathological-Society/Mycological-Society-of-America. Quebec City, CANADA. July 29 -August 02, 2006. Amer Phytopathol Soc; Canadian Phytopathol Soc; Mycol Soc Amer.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
50	Dyhrman, St; Chappell, Pd; Haley, St; Moffett, Jw; Orchard, Ed; Waterbury, Jb; Webb, Ea	2006	Phosphonate utilization by the globally important marine diazotroph Trichodesmium	Nature [Nature]. Vol. 439, no. 7072, pp. 68-71. 5 Jan 2006. ISSN: 0028-0836 E-ISSN: 1476-4679 DOI: 10.1038/nature04203 Published by: Nature Publishing Group, The Macmillan Building 4 Crinan Street London N1 9XW UK, [mailto:feedback.nature.com], [URL:http://www.nature.com/]	海洋における微生物によるホスホン酸利用等に関する研究であり①。
51	Gagnaire, B.; Thomas-Guyon, H.; Burgeot, Th.; Renault, T.	2006	Pollutant effects on Pacific oyster, Crassostrea gigas (Thunberg), hemocytes: Screening of 23 molecules using flow cytometry	Cell Biology and Toxicology (2006), 22(1), 1-14	The investigation does not allow attributing the observations made to the substance of concern (e.g.mixture of substances, origin of exposure unclear).
52	Fathia Mubeen; Asma Aslam; Sheikh, M. A.; Tahira Iqbal; Sohail Hameed; Malik, K. A.; Hafeez, F. Y.	2006	Response of wheat yield under combined use of fungicides and bio-fertilizer.	International Journal of Agriculture and Biology (2006) , Volume 8, Number 5, pp. 580-582, 13 refs. ISSN: 1560-8530 Published by: Friends Science	薬効薬害に関する論文のため、④
53	Koskela, Harri; Grigoriu, Nicoleta; Vanninen, Paula.	2006	Screening and Identification of Organophosphorus Compounds Related to the Chemical Weapons Convention with 1D and 2D NMR Spectroscopy.	Anal. Chem., Volume 78, Issue 11, Page 3715-3722, Publication Year 2006	化学兵器に関連する低濃度の有機リン化合物の測定に関する文献であり、当該農薬に関係しない。
54	Abbasi, P. A.; Lazarovits, G.	2006	Seed treatment with phosphonate (AG3) suppresses Pythium damping-off of cucumber seedlings.	Plant Dis., Volume 90, Issue 4, Page 459-464, Publication Year 2006	ビシウム苗立枯病への効果であり④。
55	Lagarrigue, M; Boss E, A; B Gos, A; Varenne, A; Gareil, P; Bellier, B	2006	Separation and identification of isomeric acidic degradation products of organophosphorus chemical warfare agents by capillary electrophoresis-ion trap mass spectrometry	J. Chromatogr. A, (2006) Vol. 1137, Issue 1, pp. 110-118	分析法
56	Fazli Raziq; Fox, R. T. V.	2006	Sequential application of fungal antagonists and systemic fungicides for controlling Armillaria root rot of strawberry plants.	Sarhad Journal of Agriculture (2006) , Volume 22, Number 2, pp. 307-315, 21 refs. ISSN: 1016-4383 Published by: NWFP Agricultural University, Peshawar	薬効薬害に関する論文のため、④
57	Han, David	2006	Summer Disease Management with Programs Including Fosetyl - AL on Bentgrass Putting Greens	20061112 Conference: 2006 International Annual Joint Meeting of the American Society of Agronomy, Crop Science Society of America, and Soil Science Society of America, Indianapolis, Indiana (USA), 12 Nov 2006 - 16 Nov 2006 Sponsor(s): American Society of Agronomy (ASA) Crop Science Society of America (CSSA) Soil Science Society of America (SSSA) URL (Document): http://a-c-s.confex.com/crops/2006am/techprogram/index.html	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
58	Raziq, F; Fox, R T V	2006	The integrated control of Armillaria mellea 1. Glasshouse experiments.	Biological agriculture and horticulture (2006) , Volume 23, Number 3, pp. 225-234 ISSN: 0144-8765 Source Note: 2006, v. 23, no. 3	薬効薬害に関する論文のため、④
59	Raziq, F; Fox, R T V	2006	The integrated control of Armillaria mellea 2. Field experiments.	Biological agriculture and horticulture (2006) , Volume 23, Number 3, pp. 235-249 ISSN: 0144-8765 Source Note: 2006, v. 23, no. 3	薬効薬害に関する論文のため、④
60	Ulmer, Bryan J.; Lapointe, Stephen L.; Pena, Jorge E.; Duncan, Rita E.	2006	Toxicity of pesticides used in citrus to Aprostocetus vaquitarum (Hymenoptera: Eulophidae), an egg parasitoid of Diaprepes abbreviatus (Coleoptera: Curculionidae).	Fla. Entomol., Volume 89, Issue 1, Page 10-19, Publication Year 2006	ヒメコバチに対する影響であり⑩b

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
61	Daughtrey, M. L. [Reprint Author]; Tobiasz, M.	2007	An additional host and management tools for downy mildew of coleus.	Phytopathology, (JUL 2007) Vol. 97, No. 7, Suppl. S, pp. S178. Meeting Info.: Conference of the Northeastern Division of the American-Phytopathological-Society. Burlington, VT, USA. November 07 -09, 2006. Amer Phytopathol Soc, NE Div.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
62	Meyers, Katherine J.; Swiecki, Tedmund J.; Mitchell, Alyson E.	2007	An Exploratory Study of the Nutritional Composition of Tanoak (Lithocarpus densiflorus) Acorns after Potassium Phosphonate Treatment	Journal of Agricultural and Food Chemistry (2007), 55(15), 6186-6190	薬効薬害に関する論文のため、④
63	Soballe, K. [Reprint Author]	2007	Biologic treatment strategies.	Calcified Tissue International, (2007) Vol. 80, No. Suppl. 1, pp. S17. Meeting Info.: 34th European Symposium on Calcified Tissues. Copenhagen, DENMARK. May 05 -09, 2007.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
64	Gagnaire, Beatrice; Gay, Melanie; Huvet, Arnaud; Daniel, Jean-Yves; Saulnier, Denis; Renault, Tristan	2007	Combination of a pesticide exposure and a bacterial challenge: In vivo effects on immune response of Pacific oyster, Crassostrea gigas (Thunberg)	Aquatic Toxicology (2007), 84(1), 92-102	The investigation does not allow attributing the observations made to the substance of concern (e.g.mixture of substances, origin of exposure unclear).
65	Moros, Javier; Armenta, Sergio; Garrigues, Salvador; De La Guardia, Miguel	2007	Comparison of two vibrational procedures for the direct determination of mancozeb in agrochemicals	Talanta (2007), 72(1), 72-79	農薬製剤中のマンコゼブの分析に関する文献であり、当該農薬に関係しない。
66	Blanchoud, H.; Moreau-Guigon, E.; Farrugia, F.; Chevreuil, M.; Mouchel, J. M.	2007	Contribution by urban and agricultural pesticide uses to water contamination at the scale of the Marne watershed.	Sci. Total Environ., Volume 375, Issue 1-3, Page 168-179, Publication Year 2007	フランスにおける都市及び農地からの河川への農薬の流入であり⑩。
67	Koopman, T. A. [Reprint Author]; Linde, C. C.; Fourie, P. H.; Mcleod, A.	2007	Epidemiological importance of Plasmopara viticola oospore infections in South African vineyards.	South African Journal of Science, (JAN-FEB 2007) Vol. 103, No. 1-2, pp. IX. Meeting Info.: 44th Annual Congress of the Southern-African-Society-for-Plant-Pathology. Magaliesburg, SOUTH AFRICA. January 22 -25, 2006. So African Soc Plant Pathol.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
68	Rebollar-Alviter, A. [Reprint Author]; Madden, L. V.; Ellis, M. A.	2007	Evaluation of post-infection efficacy of fungicides for controlling leather rot of strawberry caused by Phytophthora cactorum in the field.	Phytopathology, (JUL 2007) Vol. 97, No. 7, Suppl. S, pp. S97. Meeting Info.: Joint Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society/Society-of-Nematologies. San Diego, CA, USA. July 28 -August 01, 2007. Amer Phytopathol Soc; Soc Nematol.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
69	Vawdrey, L. L.; Westerhuis, D.	2007	Field and glasshouse evaluations of metalaxyl, potassium phosphonate , acibenzolar, and tea tree oil in managing Phytophthora root rot of papaya in far northern Queensland, Australia	Australasian Plant Pathology (2007), 36(3), 270-276	薬効薬害に関する論文のため、④
70	Worrell Filho, J. A.; Martins, D. A.; Stadnik, M. J.	2007	Foliar spray of treatments in the control of downy mildew and bulb rot in onion. Aplicacao foliar de tratamentos para o controle do mildio e da podridao-de-escamas de bulbos de cebola.	Horticultura Brasileira (2007) , Volume 25, Number 4, pp. 544-549, 22 refs. ISSN: 0102-0536 DOI: 10.1590/S0102-05362007000400010 Published by: Sociedade de Olericultura do Brasil, UNESP - FCA, Botucatu URL (Availability): http://www.scielo.br/scielo.php/script_sci_series/pi_d_0102-0536/ing_en/nrm_iso	ベト病に対する効果であり④。
71	Mitkowski, N. A. [Reprint Author]; Madeiras, A. M.	2007	Fungicide susceptibility of Colletotrichum graminicola isolated from turfgrasses in southern new England.	Phytopathology, (JUL 2007) Vol. 97, No. 7, Suppl. S, pp. S78. Meeting Info.: Joint Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society/Society-of-Nematologies. San Diego, CA, USA. July 28 -August 01, 2007. Amer Phytopathol Soc; Soc Nematol.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
72	Mcdowell, R. W.; Scott, J. T.; Stewart, I.; Condon, L. M.	2007	Influence of aggregate size on phosphorus changes in a soil cultivated intermittently: analysis by 31P nuclear magnetic resonance.	Biol. Fertil. Soils, Volume 43, Issue 4, Page 409-415, Publication Year 2007	The investigation does not allow attributing the observations made to the substance of concern (e.g.mixture of substances, origin of exposure unclear).
73	Freuze, Ingrid (Reprint) Jadas-Hecart, Alain; Royer, Alain; Communal, Pieffe-Yves	2007	Influence of complexation phenomena with multivalent cations on the analysis of glyphosate and aminomethyl phosphonic acid in water	JOURNAL OF CHROMATOGRAPHY A, (21 DEC 2007) Vol. 1175, No. 2, pp. 197-206. ISSN: 0021-9673.	グリホサート及びその代謝物AMPAの分析における多価陽イオンの影響に関してであり①。
74	Gonzalez-Gonzalez, Juan Manuel [Reprint Author]; Guzman-Gonzalez, Salvador; Sanchez-Arevalo, Emilio; Fonseca-Gongora, Roberto	2007	PersianLime (Citrus latifolia tan.) productivity on two rootstocks: Citrus volkameriana and Citrus macrophylla in the dry tropics of Mexico.	Hortscience, (JUL 2007) Vol. 42, No. 4, Suppl. S, pp. 979. Meeting Info.: Annual Conference of the American-Society-for-Horticultural-Science. Scottsdale, AZ, USA. July 16 -19, 2007. Amer Soc Hort Sci.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
75	Garbelotto, M.; Schmidt, D. J.; Harnik, T. Y.	2007	Phosphite injections and bark application of phosphite+Pentrabark™ control sudden oak death in coast live oak.	Arboriculture and Urban Forestry (2007) , Volume 33, Number 5, pp. 309-317, 15 refs. ISSN: 0278-5226 Published by: International Society of Arboriculture, Champaign URL (Availability): http://joa.isa-arbor.com/articles.asp?JournalID equals 1 and VolumeID equals 33 and IssueID equals 5	薬効薬害に関する論文のため、④
76	Cuc, G.; Pop, O.; Pop, D.; Oltean, I.; Oros, S.	2007	Research concerning the integrated control of diseases pests and weeds in cabbage crop.	Bulletin of University of Agricultural Sciences and Veterinary Medicine Cluj-Napoca. Agriculture (2007) , Volume 63/64, pp. 271-276, 8 refs. ISSN: 1843-5246 Published by: University of Agricultural Sciences and Veterinary Medicine, Cluj-Napoca	薬効薬害に関する論文のため、④
77	Katerova, Liliya S.	2007	Residues of chlorothalonil, folpet, propiconazole, penconazole and myclobutanil, in grapes and vine leaves after the last spraying and at vintage	Lozarstvo i Vinarstvo (2007) , 55(2), 20-27	当該農薬に関係しない5農薬のぶどう残留分析であり、①
78	Brannen, P. M. [Reprint Author]; Nesmith, S.; Harmon, P.	2007	Use of phosphonates for control of Phytophthora root rot of blueberry.	Phytopathology, (JUL 2007) Vol. 97, No. 7, Suppl. S, pp. S13. Meeting Info.: Joint Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society/Society-of-Nematologies. San Diego, CA, USA. July 28 -August 01, 2007. Amer Phytopathol Soc; Soc Nematol.	疫病菌に対する効果であり④。また会議要旨であり⑧。
79	Giza, M; Thissen, P; Grundmeier, G	2008	Adsorption kinetics of organophosphonic acids on plasma- modified oxide-covered aluminum surfaces	Langmuir, (2008) Vol. 24, Issue 16, pp. 8688-8694	オクタデシルホスホン酸単分子層の自己集合プロセスの速度論を研究したものであり①。
80	Moreira, Luciene Martins [Reprint Author]; May-De Mio, Louise Larissa; Valdebenito-Sanhueza, Rosa Maria	2008	Antagonistic fungi and effect of chemical products in the control of brown rot in peach orchards. Original Title: Fungos antagonistas e efeito de produtos químicos no controle da podridão parda em pomar de pessegueiro.	Summa Phytopathologica, (JUL-SEP 2008) Vol. 34, No. 3, pp. 272-276.	もも灰星病に対する効果であり④。
81	Thapa, Kritika [Reprint Author]; Rai, Kriti; Edwards, David C.	2008	CHED 1110-Nutrient and metal contamination in a man-made lake: Effects and implications.	Abstracts of Papers American Chemical Society, (APR 6 2008) Vol. 235, pp. 1110-CHED. Meeting Info.: 235th American-Chemical-Society National Meeting. New Orleans, LA, USA. April 06 -10, 2008. Amer Chem Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
82	Whiteside, Melanie; Mineau, Pierre; Morrison, Clare; Knopper, Loren D.	2008	Comparison of a score-based approach with risk-based ranking of in-use agricultural pesticides in Canada to aquatic receptors.	Integr. Environ. Assess. Manage., Volume 4, Issue 2, Page 215-236, Publication Year 2008	既存の毒性データを用いた水産動植物へのリスクのランク付けであり⑨。
83	Chapara, V. [Reprint Author]; Taylor, R. J.; Pasche, J. S.; Gudmestad, N. C.	2008	Competitive studies on parasitic fitness using blended soil infestations of mefenoxam-sensitive and mefenoxam-resistant Phytophthora erythroseptica isolates under fungicide selection pressure.	Phytopathology, (JUN 2008) Vol. 98, No. 6, Suppl. S, pp. S34. Meeting Info.: 100th Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society. Minneapolis, MN, USA. July 26 -30, 2008. Amer Phytopathol Soc.	疫病菌の寄生性に関してであり④。
84	Kelderer, M.; Matteazzi, A.; Casera, C. Editor(S): Foerdergemeinschaft Oekologischer Obstbau E. V.	2008	Degradation behaviour of potassium K - phosphite in apple trees.	Ecofruit. 13th International Conference on Cultivation Technique and Phytopathological Problems in Organic Fruit-Growing. Proceedings of the conference, Weinsberg, Germany, 18-20 February 2008 (2008) , pp. 59-61, 3 refs. ISBN: 978-3-9804883-6-5 Published by: Foerdergemeinschaft Oekologischer Obstbau e.V. (FOeKO), Weinsberg Conference: Ecofruit. 13th International Conference on Cultivation Technique and Phytopathological Problems in Organic Fruit-Growing. Proceedings of the conference, Weinsberg, Germany, 18-20 February 2008.	亜リン酸カリウムを処理したりんごの残留に関する論文であり、①
85	Rebollar-Alviter, A. [Reprint Author]; Silva-Rojas, H. V.; Zelaya-Molina, L. X.	2008	Detection and management of downy mildew of blackberry caused by Peronospora sparsa in Michoacan, Mexico.	Phytopathology, (JUN 2008) Vol. 98, No. 6, Suppl. S, pp. S131. Meeting Info.: 100th Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society. Minneapolis, MN, USA. July 26 -30, 2008. Amer Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
86	Amiri, A. [Reprint Author]; Brannen, P. M.; Schnabel, G.	2008	Development of a selective medium for recovery of Monilinia fructicola from peach fruit.	Phytopathology, (JUN 2008) Vol. 98, No. 6, Suppl. S, pp. S12. Meeting Info.: 100th Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society. Minneapolis, MN, USA. July 26 -30, 2008. Amer Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
87	Thao, Hoang Thi Bich; Yamakawa, Takeo; Shibata, Katsuhiko; Sarr, Papa Saliou; Myint, Aung Kyaw	2008	Growth response of komatsuna (Brassica rapa var. peruviridis) to root and foliar applications of phosphite	Plant and Soil (2008), 308(1-2), 1-10	垂リン酸塩のリン供給源としての効果を調査した文献であり、①及び④
88	Arasumallaiah, L.; Krishnamurthy, Y. L.; Krishnappa, M.	2008	Management of foot rot (quick wilt) disease of black pepper in malnad regions of Karnataka.	Environment and Ecology (2008) , Volume 26, Number 3A, pp. 1432-1438, 13 refs. ISSN: 0970-0420 Published by: MKK Publication, Calcutta	薬効薬害に関する論文のため、④
89	Bibekananda Mohanty; Dasgupta, B.; Mohanty, B.	2008	Management of foot rot and leaf rot of betelvine (Piper betle) caused by Phytophthora parasitica by using safer fungicides.	Journal of Mycopathological Research (2008) , Volume 46, Number 1, pp. 81-84, 16 refs. ISSN: 0971-3719 Published by: Indian Mycological Society, Calcutta URL (Availability): http://www.imskolkata.org/section/journal-author-instruction/index.php	薬効薬害に関する論文のため、④
90	Mcorley, Robert; Wang, Koon-Hui; Roskopf, Erin N; Kokalis-Burelle, Nancy	2008	Methyl Bromide Alternatives for Floriculture Production In A Problem Site.	Annual International Research Conference on Methyl Bromide Alternatives and Emissions Reductions : [proceedings] (2008) Source Note: 2008	メチル臭素の代替剤検討であり④。会議要旨であり⑧。
91	Schreck, E.; Geret, F.; Gontier, L.; Treilhou, M.	2008	Neurotoxic effect and metabolic responses induced by a mixture of six pesticides on the earthworm <i>Aporrectodea caliginosa nocturna</i>	Chemosphere (2008), 71(10), 1832-1839	The investigation does not allow attributing the observations made to the substance of concern (e.g.mixture of substances, origin of exposure unclear).
92	Casonato, Sg; Manning, Ma; Rheinlaender, Pa; Fullerton, Ra	2008	Phytotoxicity of phosphorus acid in <i>Leucodendron Safari Goldstrike</i>	New Zealand Plant Protection [N. Z. Plant Prot.]. Vol. 61, p. 392. 2008. ISSN: 1175-9003	薬効薬害に関する論文のため、④
93	Henning-De Jong, Irmgard; Van Zelm, Rosalie; Huijbregts, Mark A. J.; De Zwart, Dick; Van Der Linden, Ton M. A.; Wintersen, Arjen; Posthuma, Leo; Van De Meent, Dik.	2008	Ranking of agricultural pesticides in the Rhine-Meuse-Scheldt basin based on toxic pressure in marine ecosystems.	Environ. Toxicol. Chem., Volume 27, Issue 3, Page 737-745, Publication Year 2008	北海における環境インパクトに基づく農薬のランキングで新規のデータを含まないため⑨。
94	Peruch, Luiz Augusto Martins; Della Bruna, Emilio	2008	Relation between doses of Bordeaux mixture and potassium phosphites on the intensity of Downy Mildew on grape cv. /Goethe/	Ciencia Rural (2008), 38(9), 2413-2418	ボルドー及び垂リン酸カリウムのべと病に対する効果であり④。
95	Kapgate, V. K.; Raut, B. T.; Pawar, N. B.	2008	Studies on translocation, persistence and phytotoxicity of systemic and contact fungicides in chilli crop.	Journal of Plant Disease Sciences (2008) , Volume 3, Number 2, pp. 197-200, 9 refs. ISSN: 0973-7456 Published by: Association of Plant Pathologist, Akola	6農薬（ホセチルは含まない）について薬剤処理後のとうがらし植物体抽出物の抗菌活性を調査し、8農薬（ホセチルを含む）について薬害を調査した文献であり、④
96	Smagula, John M. [Reprint Author]; Kreider, Loretta	2008	Supplementing diammonium phosphate fertilizer with phosphite foliar sprays for lowbush blueberry.	Hortscience, (JUN 2008) Vol. 43, No. 3, pp. 599-600. Meeting Info.: Northeast Region Annual Meeting of the American-Society-for-Horticultural-Science. Brunswick, NJ, USA. January 03 -05, 2008. Amer Soc Hort Sci, NE Reg.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
97	Ozturk Cali, I.	2008	The effects of fosetyl - Al application on morphology and viability of <i>Lycopersicon esculentum</i> Mill. pollen	Plant, Soil and Environment (2008), 54(8), 336-340	薬効薬害に関する論文のため、④
98	Ratjen Arne M.; Gerendas Joska	2009	A critical assessment of the suitability of phosphite as a source of phosphorus	Journal of plant nutrition and soil science : (1999), (2009) , 172(6), 821-828, refs. 1 p.1/4 ISSN: 1436-8730	The investigation does not allow attributing the observations made to the substance of concern (e.g.mixture of substances, origin of exposure unclear).
99	Dyhrman, Sonya T.; Benitez-Nelson, Claudia R.; Orchard, Elizabeth D.; Haley, Sheean T.; Pellechia, Perry J.	2009	A microbial source of phosphonates in oligotrophic marine systems	Nature Geoscience (2009), 2(10), 696-699	シアノバクテリアによるホスホン酸産生に関する研究であり①。
100	Ramirez, M. E. [Reprint Author]; Zapien, B.; Zegarra, H. G.; Rojas, N. G.; Fernandez, L. C.	2009	Assessment of hydrocarbon biodegradability in clayed and weathered polluted soils	International Biodeterioration and Biodegradation, (APR 2009) Vol. 63, No. 3, pp. 347-353.	炭化水素の分解速度に対する栄養素と水分の含有量の影響を評価したマイクロコスモスでの生分解試験であり①。
101	Ferre, A.; Tragin, M.	2009	Control of telluric diseases by using microorganisms in the production of cyclamen and Lisianthus. Controle des maladies telluriques par utilisation de microorganismes en production de cyclamen et de lisianthus.	PHM Revue Horticole (2009) , Number 518, pp. 18-24 ISSN: 0031-5087 Published by: PHM Revue Horticole, Paris	薬効薬害に関する論文のため、④
102	Dhall, R. K.; Mahajan, B. V. C.; Dhatt, A. S.	2009	Effect of ethephon and ethylene gas on ripening and quality of detached winter tomato.	Acta Hortic., Volume 877, Issue Proceedings of the VIth International Postharvest Symposium, 2009, Volume 2, Page 1025-1030, Publication Year 2010	他剤 (ethephon) に関する論文であり、①
103	Cloyd, Raymond A.; Timmons, Nicholas R.; Goebel, Jessica M.; Kemp, Kenneth E.	2009	Effect of pesticides on adult rove beetle <i>Atheta coriaria</i> (Coleoptera: Staphylinidae) survival in growing medium.	J. Econ. Entomol., Volume 102, Issue 5, Page 1750-1758, Publication Year 2009	ハネカクシへの影響であり⑩b

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
104	Moor, Ulvi [Reprint Author]; Poldma, Priit; Tonutare, Tonu; Karp, Kadri; Starast, Marge; Vool, Ele	2009	Effect of phosphite fertilization on growth, yield and fruit composition of strawberries.	Scientia Horticulturae (Amsterdam), (FEB 3 2009) Vol. 119, No. 3, pp. 264-269.	いちごに対する亜リン酸肥料の効果を調査した文献であり、①及び④
105	Szymanska, B.; Baranowski, T.	2009	Effect of the mixing order of selected fungicides and zoocides on physicochemical properties of spraying liquid. Wpływ kolejności mieszania wybranych fungicydów i zoocydów na właściwości fizyko-chemiczne powstałych cieczy użytkowych.	Progress in Plant Protection (2009) , Volume 49, Number 1, pp. 56-60, 6 refs. ISSN: 1427-4337 Published by: Instytut Ochrony Roslin (Institute of Plant Protection), Poznan URL (Availability): http://www.progress.plantprotection.pl/pliki/2009/49-1-72.pdf	The investigation does not allow attributing the observations made to the substance of concern (e.g.mixture of substances, origin of exposure unclear)).
106	Elliott, M. [Reprint Author]; Shamoun, S. F.; Sumampong, G.; James, D.; Masri, S.; Varga, A.	2009	Effects of several fungicides on mycelial growth, chlamydospore formation, and zoospore germination of Phytophthora ramorum.	Canadian Journal of Plant Pathology, (JAN-MAR 2009) Vol. 31, No. 1, pp. 135-136. Meeting Info.: British Columbia Region Meeting of the Canadian-Phytopathological-Society. Victoria, CANADA. October 20 -21, 2008. Canadian Phytopathol Soc, British Columbia Reg.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
107	Simal-Gandara, Jesus (Reprint) Gonzalez-Rodriguez, Rosa M.; Cancho-Grande, Beatriz; Simal-Gandara, Jesus (Reprint)	2009	Efficacy of new commercial formulations to control downy mildew and dissipation of their active fungicides in wine after good agricultural practices	JOURNAL OF THE SCIENCE OF FOOD AND AGRICULTURE, (DEC 2009) Vol. 89, No. 15, pp. 2625-2635. ISSN: 0022-5142.	薬効薬害に関する論文のため、④
108	Otto, Stefan; Lazzaro, Luca; Finizio, Antonio; Zanin, Giuseppe.	2009	Estimating ecotoxicological effects of pesticide drift on nontarget arthropods in field hedgerows.	Environ. Toxicol. Chem., Volume 28, Issue 4, Page 853-863, Publication Year 2009	ドリフトによる標的外生物への影響を既存データを用いて調べており⑨。
109	Solla, Alejandro; Garcia, Lorena; Perez, Andrea; Cordero, Ana; Cubera, Elena; Moreno, Gerardo	2009	Evaluating potassium phosphonate injections for the control of Quercus ilex decline in SW Spain: implications of low soil contamination by Phytophthora cinnamomi and low soil water content on the effectiveness of treatments	Phytoparasitica (2009) , 37(4), 303-316	薬効薬害に関する論文のため、④
110	Crane, Jonathan H; Palmateer, Aaron J; Evans, Edward A	2009	Foliarly Applied Aliette and Propylt on Avocado (Persea americana) Trees Is Not Phytotoxic.	Proceedings of the ... annual meeting of the Florida State Horticultural Society (2009) , Volume 122, pp. 4-6 Source Note: 2009, v. 122	アボガドに対する薬害であり④。
111	Laitinen, Pirkko; Ramo, Sari (Reprint); Nikunen, Unto; Jauhainen, Lauri; Turtola, Eila Siimes, Katri	2009	Glyphosate and phosphorus leaching and residues in boreal sandy soil	PLANT AND SOIL, (OCT 2009) Vol. 323, No. 1-2, Sp. iss. SI, pp. 267-283. ISSN: 0032-079X.	グリホサートの土壌中挙動であり①。
112	Tumminelli, R.; Pasotti, L.	2009	How to reduce damage by frost and rain in citrus crops. Come ridurre i danni da gelate e piogge su agrumi.	Informatore Agrario (2009) , Volume 65, Number 13, pp. 59-61 ISSN: 0020-0689 Published by: Edizioni lInformatore Agrario Srl, Verona URL (Availability): http://www.informatoreagrario.it	薬効薬害に関する論文のため、④
113	Bruck, Denny J.	2009	Impact of fungicides on Metarhizium anisopliae in the rhizosphere, bulk soil and in vitro.	BioControl, Volume 54, Issue 4, Page 597-606, Publication Year 2009	メタリジウム菌に対する影響であり④
114	Tzelepis, G.; Lagopodi, A.L.	2009	Influence of fungicides on the growth of the fungus Clonostachys rosea IK726	Phytopathologia Mediterranea [Phytopathol. Mediterr.], (20090800) vol. 48, no. 2, p. 341. ISSN: 0031-9465.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
115	Shearer, B. L. (Reprint) Shearer, B. L. (Reprint); Crane, C. E.	2009	Influence of site and rate of low-volume aerial phosphite spray on lesion development of Phytophthora cinnamomi and phosphite persistence in Lambertia inermis var. inermis and Banksia grandis	AUSTRALASIAN PLANT PATHOLOGY, (2009) Vol. 38, No. 3, pp. 288-304. ISSN: 0815-3191.	薬効薬害に関する論文のため、④
116	Juraske, Ronnie; Mutel, Christopher L.; Stoessel, Franziska; Hellweg, Stefanie.	2009	Life cycle human toxicity assessment of pesticides: Comparing fruit and vegetable diets in Switzerland and the United States.	Chemosphere, Volume 77, Issue 7, Page 939-945, Publication Year 2009	アメリカ及びスイスにおいて、食品摂取量、残留農薬モニタリング、農薬使用量等のマクロな統計データと各農薬の毒性指標から、果物及び野菜の経口摂取を介した農薬曝露による障害調整生存年 (DALY)への影響を推定した文献。
117	Thao, Hoang Thi Bich; Yamakawa, Takeo	2009	Phosphite (phosphorous acid): fungicide , fertilizer or bio-stimulator?	Soil Science and Plant Nutrition (Richmond, Australia) (2009) , 55(2), 228-234	亜リン酸の植物への効果についての研究をレビューしたものであり、④⑨
118	Nicolas, E.; Fernandez, F.; Garcia-Mina, J. M.; Pedrero, F.; Lopez, L. F.	2009	Physiological response to Eurofit Max of uninfected lettuce plants and orange trees. Respuesta fisiologica de eurofit max en plantas de lechuga y arboles de naranjo no infectados.	Agricola Vergel: Fruticultura, Horticultura, Floricultura, Citricultura, Vid, Arroz (2009) , Volume 28, Number 331, pp. 363-366, 20 refs. ISSN: 0211-2728 Published by: Ediciones y Promociones L.A.V., Valencia URL (Availability): http://www.edicioneslav.com	バイオスティミュラントの効果を研究した文献であり③

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
119	Verro, Roberto; Finizio, Antonio; Otto, Stefan; Vighi, Marco.	2009	Predicting Pesticide Environmental Risk in Intensive Agricultural Areas. I: Screening Level Risk Assessment of Individual Chemicals in Surface Waters.	Environ. Sci. Technol., Volume 43, Issue 2, Page 522-529, Publication Year 2009	農薬の使用実態に基づく環境中濃度の予測であり⑦。
120	Verro, Roberto; Finizio, Antonio; Otto, Stefan; Vighi, Marco.	2009	Predicting Pesticide Environmental Risk in Intensive Agricultural Areas. II: Screening Level Risk Assessment of Complex Mixtures in Surface Waters.	Environ. Sci. Technol., Volume 43, Issue 2, Page 530-537, Publication Year 2009	環境中予測濃度に基づくリスク評価であり⑨。
121	Pasini, C.; Gaggero, L.	2009	Preliminary results of a study on the control of <i>Pseudomonas viridiflava</i> on buttercup. . Risultati preliminari sulla lotta control unalterazione del ranuncolo causata da <i>Pseudomonas viridiflava</i> .	Protezione delle Colture (2009) , Number 2, pp. 114-115 Published by: International Society for Plant Pathology, Grugliasco URL (Availability): http://www.ag4roinnova.org	薬効薬害に関する論文のため、④
122	Carrillo, Daniel; Pena, Jorge E.; Rogers, Michael E.	2009	Relative susceptibility of <i>Haemaphysalis</i> spp. (Hymenoptera: Trichogrammatidae) to pesticides used in citrus and ornamental systems in Florida.	J. Econ. Entomol., Volume 102, Issue 3, Page 905-912, Publication Year 2009	タマゴヤドリコバチに対する影響であり⑩b
123	Fan, Zhi-Xian; Ding, Ning; Zhao, Wen-Ying; Jia, Shu-Min; Wang, Shu-Juan	2009	Residue analysis and evaluation of aluminium in cucumbers and leaves applied with fosetyl - aluminium	Fenxi Shiyanshi (2009) , 28(8), 113-115	ホセチル処理後のきゅうりにおけるアルミニウムの残留分析法の確立及びその測定に関する文献。アルミニウムを分析対象としており、評価に活用する観点で妥当ではない。
124	Briland, Ruth [Reprint Author]; Culver, David	2009	Resource and consumer interactions in percid culture ponds.	American Fisheries Society Annual Meeting, (2009) No. Suppl. S. Meeting Info.: 139th Meeting of the American-Fisheries-Society. Nashville, TN, USA. August 30 -September 03, 2009. Amer Fisheries Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
125	Botta Fabrizio; Lavison Gwenaelle; Couturier Guillaume; Alliot Fabrice; Moreau-Guigon Elodie; Fauchon Nils; Guery Benedicte; Chevreuil Marc; Blanchoud Helene	2009	Transfer of glyphosate and its degradate AMPA to surface waters through urban sewerage systems	Chemosphere, (2009 Sep) Vol. 77, No. 1, pp. 133-9. Electronic Publication Date: 30 May 2009	グリホサート及びその代謝物に関してであり①。
126	Anil Kumar, R.; Vasu, K.; Velayudhan, K. T.; Ramachandran, V.; Suseela Bhai, R.; Unnikrishnan, G.	2009	Translocation and distribution of ³² P labelled potassium phosphonate in black pepper (<i>Piper nigrum</i> L)	Crop Protection (2009) , 28(10), 878-881	黒コショウの一部の葉に ³² P垂リン酸二水素カリウム（放射化学的純度不明）を塗布し、処理18日後までの放射能の移動をオートラジオグラフィーにより調査。処理3日後の植物体各部への放射能分布を液体シンチレーション測定により調査。被験物質が親化合物ホセチルではなく、評価に活用する観点で妥当ではない。被験物質の処理量が明記されていない。
127	Ceh, B.; Cizej, M. R.; Cremoznik, B.	2009	Treated mineral water in production of hops.	Hmeljarski Bilten (2009) , Volume 16, pp. 33-42, 10 refs. ISSN: 0350-0756 Published by: Institut za Hmeljarstvo in Pivovarstvo, Zalec URL (Availability): http://www.ihsps.si	薬効薬害に関する論文のため、④
128	Rosenberger, D. A. [Reprint Author]; Meyer, F. W.; Rugh, A. L.	2009	Using phosphite fungicides to control sooty blotch and flyspeck on apples.	Phytopathology, (JUN 2009) Vol. 99, No. 6, Suppl. S, pp. S195. Meeting Info.: Annual Meeting of the Northeastern Division of the American-Phytopathological-Society. Newport, RI, USA. October 08 -10, 2008. Amer Phytopathol Soc, NE Div.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
129	Kumar, R. Anil; Velayudhan, K. T.; Ramachandran, V.; Bhai, R. Susheela; Unnikrishnan, G.; Vasu, K.	2010	Adsorption and removal kinetics of phosphonate from water using natural adsorbents	Water Environment Research (2010) , 82(1), 62-68	ホスホン酸の炭等への吸着を調べているが、土壌への吸着は調べておらず、リスク評価に利用できない。
130	Olsson, R; Giesler, R; Loring, Js; Persson, P	2010	Adsorption, desorption, and surface-promoted hydrolysis of glucose-1-phosphate in aqueous goethite (alpha-FeOOH) suspensions	Langmuir, (2010) Vol. 26, Issue 24, pp. 18760-18770	グルコース1リン酸の吸着等であり①。
131	Porter, L. D. [Reprint Author]	2010	Aggressiveness and management of metalaxyl-resistant <i>Pythium ultimum</i> .	Phytopathology, (JUN 2010) Vol. 100, No. 6, Suppl. S, pp. S102. Meeting Info.: Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society (APS). Charlotte, NC, USA. August 07 - 11, 2010. Amer Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
132	De Curtis, F; Lima, G; Vitullo, D; De Cicco, V	2010	Biocontrol of <i>Rhizoctonia solani</i> and <i>Sclerotium rolfsii</i> on tomato by delivering antagonistic bacteria through a drip irrigation system	Crop protection (2010) , Volume 29, Number 7, pp. 663-670 ISSN: 0261-2194 Published by: [Amsterdam]: Elsevier Science Source Note: 2010 July, v. 29, no. 7	薬効薬害に関する論文のため、④

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
133	Gruba, P.; Zwydak, M.	2010	Chemistry of aluminium and base cations in coarse woody debris.	Polish Journal of Environmental Studies (2010) , Volume 19, Number 4, pp. 707-713, 26 refs. ISSN: 1230-1485 Published by: HARD Publishing Company, Olsztyn 5 URL (Availability): http://www.pjoes.com	森林で朽ちた枯木 (coarse woody debirs) についてアルミニウム等の陽イオンを調査した文献であり、①
134	Szymanska, B.; Baranowski, T.	2010	Determination of phytotoxicity of selected protection tank-mixtures on the white mustard. Oznaczanie fitotoksycznosci wybranych mieszanin srodkow ochrony roslin na gorczyzycy biaej.	Progress in Plant Protection (2010) , Volume 50, Number 4, pp. 1874-1878, 2 refs. ISSN: 1427-4337 Published by: Instytut Ochrony Roslin (Institute of Plant Protection), Poznan URL (Availability): http://www.progress.plantprotection.pl/pliki/2010/PP_P_50_4_50_Szymanska_B.pdf	薬効薬害に関する論文のため、④
135	Sultana, Nasreen; Ghaffar, A.	2010	Effect of fungicides, microbial antagonists and oilcakes in the control of Fusarium solani, the cause of seed rot, seedling and root infection of bottle gourd, bitter gourd and cucumber	Pakistan Journal of Botany (2010), 42(4), 2921-2934	薬効薬害に関する論文のため、④
136	Assuncao, Aracelle; Santos, Leonardo De C. [Reprint Author]; Da Rocha, Mara R.; Reis, Americo J. Dos S.; Teixeira, Renato A.; Lima, Fabia S. De O.	2010	Effect of resistance inducers for the control of Meloidogyne incognita in sugarcane. Original Title: Efeito de Indutores de Resistencia sobre Meloidogyne incognita em Canade-asucar (Saccharum spp.).	Nematologia Brasileira, (MAR 2010) Vol. 34, No. 1, pp. 56-62. ISSN: 0102-2997.	薬効薬害に関する論文のため、④
137	Hopper, K. [Reprint Author]; Morales, P. R.; Wagner, J. L.	2010	Effects of Caging on Bone Metabolism in Cynomolgus Monkeys (Macaca fascicularis).	Journal of the American Association for Laboratory Animal Science, (SEP	長期間のケージ飼育がカニクイザルに及ぼす影響を調査した文献であり、当該農業に関係しない。
138	Raid, R. N. [Reprint Author]	2010	Fungicidal control of basil downy mildew.	Phytopathology, (JUN 2010) Vol. 100, No. 6, Suppl. S, pp. S175. Meeting Info.: Annual Meeting of the Caribbean Division of the American-Phytopathological-Society (APS). Orlando, FL, USA. May 16 -19, 2009. Amer Phytopathol Soc, Caribbean Div; Florida Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
139	Guerrero, Irene; Martinez, Patricia; Morales, Manuel B.; Onate, Juan J. [Reprint Author]	2010	Influence of agricultural factors on weed, carabid and bird richness in a Mediterranean cereal cropping system.	Agriculture Ecosystems and Environment, (JUN 15 2010) Vol. 138, No. 1-2, pp. 103-108.	The article does not contain information related to the substance of concern.
140	Vettrai, A M; Franceschini, S; Natili, G; Paganini, R; Alicicco, D; Vuono, G; Vannini, A	2010	Integrated control protocol (ICP) of ink disease of chestnut in Central Italy: principles and future perspectives.	Acta horticulturae (2010) , Number 866, pp. 425-430 ISSN: 0567-7572 Source Note: 2010 June, no. 866	薬効薬害に関する論文のため、④
141	Wall, G. C. [Reprint Author]	2010	Levels of P in Areca catechu leaves following phosphorous acid application through adventitious roots.	Phytopathology, (JUN 2010) Vol. 100, No. 6, Suppl. S, pp. S178. Meeting Info.: Annual Meeting of the Caribbean Division of the American-Phytopathological-Society (APS). Orlando, FL, USA. May 16 -19, 2009. Amer Phytopathol Soc, Caribbean Div; Florida Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
142	Koltai, Hinanit (Reprint)	2010	Mycorrhiza in floriculture: difficulties and opportunities	SYMBIOSIS, (DEC 2010) Vol. 52, No. 2-3, pp. 55-63. ISSN: 0334-5114.	薬効薬害に関する論文のため、④
143	Mcmillan, R. T. [Reprint Author]; Palmateer, A. J.; Cating, R. A.	2010	Phytophthora cactorum a serious problem on prefinished Cattleya orchid liners from Thailand.	Phytopathology, (JUN 2010) Vol. 100, No. 6, Suppl. S, pp. S174. Meeting Info.: Annual Meeting of the Caribbean Division of the American-Phytopathological-Society (APS). Orlando, FL, USA. May 16 -19, 2009. Amer Phytopathol Soc, Caribbean Div; Florida Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
144	Brannen, P. M. [Reprint Author]; Garner, J.; Smith, J.	2010	Phytotoxicity danger of phosphorous acid generating fungicides and fertilizer products applied to blueberry and grapes.	Phytopathology, (JUN 2010) Vol. 100, No. 6, Suppl. S, pp. S16. Meeting Info.: Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society (APS). Charlotte, NC, USA. August 07 -11, 2010. Amer Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
145	Keinath, A. P.	2010	Potassium phosphite mixed with other fungicides reduces yield loss to downy mildew on collard.	Plant Health Progress (2010) , Number August, pp. PHP-2010-0823-01-RS, 14 refs. ISSN: 1535-1025 Published by: Plant Management Network, St. Paul URL (Availability): http://www.plantmanagementnetwork.org/php/elements/sum.aspx?id equals 9177 and photo equals 5039	薬効薬害に関する論文のため、④

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
146	Decoin Marianne	2010	Produits phytopharmaceutiques vigne, moins nombreux mais de qualite: Quinze en remplacent une trentaine : Vigne	Phytoma, la defense des vegetaux, (2010) (638), 22-26 [4 p.] ISSN: 1164-6993	The article presents an overview of new protection products for vines authorised in 2008-2010. No information of relevance for the ecol. hazard assessment or risk characterisation contained.
147	Martina B Bernard, Peter Cole, Amanda Kobelt, Paul A Horne, James Altmann, Stephen D Wratten, Alan L Yen	2010	Reducing the impact of pesticides on biological control in Australian vineyards: pesticide mortality and fecundity effects on an indicator species, the predatory mite Euseius victoriensis (Acari: Phytoseiidae).	Journal of Economic Entomology 12/2010	捕食性ダニへの影響であり㊦b
148	Laywisadkul, S.; Scagel, C. F.; Fuchigami, L. H.; Linderman, R. G.	2010	Spraying leaves of pear nursery trees with urea and copper ethylenediaminetetraacetic acid alters tree nitrogen concentration without influencing tree susceptibility to Phytophthora syringae	HortTechnology (2010), 20(2), 331-342	薬効薬害に関する論文のため、㊦
149	Assalin Marcia R; De Moraes Sandra G; Queiroz Sonia C N; Ferracini Vera L; Duran Nelson	2010	Studies on degradation of glyphosate by several oxidative chemical processes: Ozonation, photolysis and heterogeneous photocatalysis	Journal of environmental science and health. Part. B, Pesticides, food contaminants, and agricultural wastes, (2010 Jan) Vol. 45, No. 1, pp. 89-94.	グリホサートの分解に関してであり㊦。
150	Chaves, A. [Reprint Author]; Mitkowski, N. A.	2010	Systemic acquired resistance for reducing bacterial wilt severity on annual bluegrass.	Phytopathology, (JUN 2010) Vol. 100, No. 6, Suppl. S, pp. S23. Meeting Info.: Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society (APS). Charlotte, NC, USA. August 07 -11, 2010. Amer Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、㊦
151	Hall, David G.; Nguyen, Ru.	2010	Toxicity of pesticides to Tamarixia radiata, a parasitoid of the Asian citrus psyllid.	BioControl, Volume 55, Issue 5, Page 601-611, Publication Year 2010	捕食性ヒメコバチに対する影響であり㊦b
152	Gregoire, Caroline; Payraudeau, Sylvain; Domange, Nicolas.	2010	Use and fate of 17 pesticides applied on a vineyard catchment.	Int. J. Environ. Anal. Chem., Volume 90, Issue 3-6, Page 406-420, Publication Year 2010	The article does not contain information related to the substance of concern.
153	Spurlock, T. [Reprint Author]; Rothrock, C.; Monfort, W.	2011	A new selective medium for isolation of Rhizoctonia spp. from soil.	Phytopathology, (JUN 2011) Vol. 101, No. 6, Suppl. S, pp. S170. Meeting Info.: American Phytopathological Society (APS)/International Plant Protection Congress(IPPS) Joint Meeting. Honolulu, HI, USA. August 06 -10, 2011. Amer Phytopathol Soc (APS); Int Plant Protection Congress (IPPS).	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、㊦
154	Hung, R. -J. [Reprint Author]; Wu, H.; Terman, J.	2011	A novel mechanism for actin filament disassembly mediated by the Semaphorin/Plexin axon guidance signaling protein Mical.	Society for Neuroscience Abstract Viewer and Itinerary Planner, (2011) Vol. 41. Meeting Info.: 41st Annual Meeting of the Society-for-Neuroscience. Washington, DC, USA. November 12 -16, 2011. Soc Neurosci.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、㊦
155	Yang, T. [Reprint Author]; Terman, J. R.	2011	Characterizing the molecular mechanisms of axon guidance: Activation and regulation of the axon guidance receptor plexin.	Society for Neuroscience Abstract Viewer and Itinerary Planner, (2011) Vol. 41. Meeting Info.: 41st Annual Meeting of the Society-for-Neuroscience. Washington, DC, USA. November 12 -16, 2011. Soc Neurosci.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、㊦
156	Nougadere, Alexandre; Reninger, Jean-Cedric; Volatier, Jean-Luc; Leblanc, Jean-Charles.	2011	Chronic dietary risk characterization for pesticide residues: A ranking and scoring method integrating agricultural uses and food contamination data.	Food Chem. Toxicol., Volume 49, Issue 7, Page 1484-1510, Publication Year 2011	490物質を対象とし、各種データ（MRL、使用、輸入割合、モニタリングデータ等）を用いた長期暴露評価であり、㊦
157	Singh, Anil Kumar; Chhatpar, H. S.	2011	Combined use of Streptomyces sp. A6 and chemical fungicides against fusarium wilt of Cajanus cajan may reduce the dosage of fungicides required in the field	Crop Protection (2011), 30(7), 770-775	薬効薬害に関する論文のため、㊦
158	Ann, Pao-Jen; Wang, Ien-Tien; Tsai, Jyh-Nong	2011	Control of phytophthora disease of fruit tree seedlings by neutralized phosphorous acid	Taiwan Nongye Yanjiu (2011), 60(2), 149-156	垂リン酸の疫病に対する効果であり㊦b
159	Abbasi, Pervaiz A. (Reprint) Abbasi, Pervaiz A. (Reprint); Lazarovits, George; Weselowski, Brian	2011	Effectiveness of AG3 phosphonate formulation in suppressing phytophthora blight in cucumber and bell pepper plants under growth room conditions	CANADIAN JOURNAL OF PLANT PATHOLOGY-REVUE CANADIENNE DE PHYTOPATHOLOGIE, (2011) Vol. 33, No. 2, pp. 150-158. ISSN: 0706-0661.	薬効薬害に関する論文のため、㊦

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
160	Torres, J. [Reprint Author]; De Jensen, C. Estevez; Sotomayor, D.	2011	Evaluation of biocontrols, coffee compost and <i>Arachis glabrata</i> on <i>Phytophthora</i> root rot in avocado.	Phytopathology, (JUN 2011) Vol. 101, No. 6, Suppl. S, pp. S278-S279. Meeting Info.: Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society Caribbean Division. San Juan, PR, USA. March 19 -22, 2011. Amer Phytopathol Soc, Caribbean Div.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
161	Cook, Kimberly L. [Reprint Author]; Rothrock, Michael J. Jr.; Eiteman, Mark A.; Lovanh, Nanh; Sistani, Karamat	2011	Evaluation of nitrogen retention and microbial populations in poultry litter treated with chemical, biological or adsorbent amendments.	Journal of Environmental Management, (JUL 2011) Vol. 92, No. 7, pp. 1760-1766. ISSN: 0301-4797.	The article does not contain information related to the substance of concern.
162	Harrison, L. A. [Reprint Author]; Rideout, S. L.	2011	In vitro sensitivity of the <i>Pythium</i> blight pathogens of snap bean to various fungicides .	Phytopathology, (JUN 2011) Vol. 101, No. 6, Suppl. S, pp. S69. Meeting Info.: American Phytopathological Society (APS)/International Plant Protection Congress(IPPS) Joint Meeting. Honolulu, HI, USA. August 06 -10, 2011. Amer Phytopathol Soc (APS); Int Plant Protection Congress (IPPS).	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
163	Gomes, Erbs C. S.; Leite, Rodrigo P.; Silva, Fabio J. A.; Cavalcanti, Leonardo S.; Nascimento, Luciana C. [Reprint Author]; Silva, Silvana M.	2011	Management of mildew and rust in grapes with resistance elicitors: yield and postharvest quality. Original Title: Manejo do mildio e ferrugem em videira com indutores de resistencia: produtividade e qualidade pos-colheita.	Tropical Plant Pathology, (SEP-OCT 2011) Vol. 36, No. 5, pp. 332-335. ISSN: 1982-5676.	ぶどうのさび病及びうどん粉病への効果であり④。
164	Costa, Carla; Silva, Susana; Neves, Joana; Coelho, Patricia; Costa, Solange; Laffon, Blanca; Snawder, John; Teixeira, Joao Paulo.	2011	Micronucleus Frequencies in Lymphocytes and Reticulocytes in a Pesticide-Exposed Population in Portugal.	J. Toxicol. Environ. Health, Part A, Volume 74, Issue 15-16, Page 960-970, Publication Year 2011	農薬暴露と小核を有するリンパ球及び赤血球の相関を調べた文献、個別の有効成分についての曝露情報がない
165	Mohapatra, Soudamini; Ahuja, A. K.; Deepa, M.; Jagdish, G. K.; Rashmi, N.; Kumar, Sampath; Prakash, G. S.	2011	Persistence and Dissipation of Flupicolide in/on Grape Berries and Soil Under Semi Arid Tropical Climatic Conditions of India	Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology (2011) , 86(2), 238-241	フルオピコリド・ホセチル混合製剤を処理したぶどうの残留について調査しているが、ホセチルに関する報告は含まれていないため、①
166	Pilbeam, Roslyn A.; Howard, Kay; Hardy, Giles E. St. J. (Reprint) Shearer, Bryan L.	2011	Phosphite stimulated histological responses of <i>Eucalyptus marginata</i> to infection by <i>Phytophthora cinnamomi</i>	TREES-STRUCTURE AND FUNCTION, (DEC 2011) Vol. 25, No. 6, pp. 1121-1131. ISSN: 0931-1890.	ジャラ (<i>Eucalyptus marginata</i>) の疫病菌 (<i>Phytophthora cinnamomi</i>) 感染に対する亜リン酸塩の効果を調査した文献であり、①及び④
167	Delaiti, M.; Marzari, T.; Baldessari, M.; Curzel, M.; Angeli, G.	2011	Phytotoxicity and miscibility of copper-based products. Fitotossicità e miscibilità dei prodotti rameici per la vite.	Informatore Agrario (2011) , Volume 67, Number 24, pp. 61-64 ISSN: 0020-0689 Published by: Edizioni l'Informatore Agrario Srl, Verona URL (Availability): http://www.informatoreagrario.it	銅剤のホセチルとの混用及び薬害について調査した文献であり、④
168	Mubarak, T. [Reprint Author]; Singh, K. N.	2011	Productivity, profitability and fertilizer management in different wheat (<i>Triticum aestivum</i>)-based cropping systems in silty clay loam soils of Srinagar.	Indian Journal of Agricultural Sciences, (MAR 2011) Vol. 81, No. 3, pp. 274-276.	The article does not contain information related to the substance of concern.
169	Mitkowski, N. [Reprint Author]	2011	The sensitivity of <i>Colletrichum cereale</i> to in vitro exposure with Velista (TM) (penthiopyrad).	Phytopathology, (JUN 2011) Vol. 101, No. 6, Suppl. S, pp. S261. Meeting Info.: Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society Northeastern Division. Northampton, MA, USA. October 27 -29, 2010. Amer Phytopathol Soc, NE Div.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
170	Sipes, B. S. [Reprint Author]; Taniguchi, G.; Radovich, T.	2011	Vermicompost tea for control of <i>Phytophthora nicotianae</i> in pineapple.	Phytopathology, (JUN 2011) Vol. 101, No. 6, Suppl. S, pp. S167. Meeting Info.: American Phytopathological Society (APS)/International Plant Protection Congress(IPPS) Joint Meeting. Honolulu, HI, USA. August 06 -10, 2011. Amer Phytopathol Soc (APS); Int Plant Protection Congress (IPPS).	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
171	Kabdasli, I; Orhon, D	2012	8Th iwa symposium on waste management problems in agroindustries-agro'2011 : H2O2/UV-C treatment of textile preparation wastewater: Kinetic investigation on alternative combinations of commercial textile preparation auxiliaries	Environ. Technol., (2012) Vol. 33, Issue 13, pp. 1465-1465	繊維製造における排水処理に関してであり②。
172	Pohanka, Miroslav (Correspondence)	2012	Acetylcholinesterase inhibitors: A patent review (2008 present).	Expert Opinion on Therapeutic Patents, (August 2012) Vol. 22, No. 8, pp. 871-886. Refs: 114 ISSN: 1354-3776; E-ISSN: 1744-7674 CODEN: EOTPEG	農薬・アルツハイマー病治療薬などアセチルコリンエステラーゼ阻害剤に関するレビューであり、⑬

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
173	Yurchenko, G. R.; Matkovskii, A. K.; Melnik, I. V.; Dudarko, O. A.; Stolyarchuk, N. V.; Zub, Yu. L.; Alonso, B.	2012	Adsorption properties of silica-based sorbents containing phosphonic acid residues	Colloid J., Volume 74, Issue 3, Page 386-390, Publication Year 2012	異なる電子構造を持つ分子の吸着を応用して、表層にホスホン酸残基を含むシリカ系吸着剤の特性に製造方法や製造条件が及ぼす影響を調べた研究であり①。
174	Glendinning, P.; Vostrel, J.	2012	Alternative strategies for hop protection against diseases and pests. Alternativni strategie ochrany chmele proti chorobam a skudcum.	Chmelarstvi (2012) , Volume 85, Number 3, pp. 22-27 ISSN: 0373-403X Published by: Vydava Chmelarstvi, Praha URL (Availability): http://www.beers.cz/chmelar/	薬効薬害に関する論文のため、④
175	Ganeshan, Girija [Reprint Author]; Chethana, B. S.	2012	Bioefficacy of Cymoxanil and Mancozeb against downy mildew of cucumber (<i>Cucumis sativus</i>) caused by <i>Pseudoperonospora cubensis</i> .	Indian Journal of Agricultural Sciences, (JAN 2012) Vol. 82, No. 1, pp. 89-91.	The article does not contain information related to the substance of concern.
176	Gade, R. M.	2012	Biological and chemical management of Phytophthora root rot/collar rot in citrus nursery	Bioscan (2012), 7(4), 631-635	薬効薬害に関する論文のため、④
177	Ranganathswamy, M.; Patibanda, A. K.; Chandrashekar, G. S.; Sandeep, D.; Mallesh, S. B.; Kumar, H. B. H.	2012	Compatibility of Trichoderma isolates with selected fungicides in vitro.	International Journal of Plant Protection (2012) , Volume 5, Number 1, pp. 12-15, 11 refs. ISSN: 0974-2670 Published by: Hind Agri-Horticultural Society, Muzaffarnagar URL (Availability): http://www.hindagrihorticulturalsociety.co.in/ijpp.h.html	トリコデルマ菌に対する影響であり⑥b
178	Lim, S. [Reprint Author]; Wang-Pruski, G.; Pinto, D. H.; Coffin, R. H.; Peters, R. D.; Al-Mughrabi, K. I.	2012	Comprehensive analysis of indirect mode of action for potassium phosphite in potato leaves against Phytophthora infestans.	Phytopathology, (JAN 2012) Vol. 102, No. 1, Suppl. 1, pp. 5. Meeting Info.: Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society (APS) Northeastern-Division. New Brunswick, NJ, USA. October 12 -14, 2011. Amer Phytopathol Soc (APS), NE Div.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
179	Laufersweiler, Michael C.; Gadagbui, Bernard; Baskerville-Abraham, Irene M.; Maier, Andrew; Willis, Alison; Scialli, Anthony R.; Carr, Gregory J.; Felter, Susan P.; Blackburn, Karen; Daston, George	2012	Correlation of chemical structure with reproductive and developmental toxicity as it relates to the use of the threshold of toxicological concern	Regulatory Toxicology and Pharmacology (2012), 62(1), 160-182	化合物データベースの情報から毒性学的懸念の閾値 (TTC) の妥当性を検証した文献
180	Soeyler, D.; Canhos, E.; Temel, N.; Hajzadeh, M.	2012	Determination of chemical fungicide against soil borne fungal diseases of capers (<i>Capparis ovata</i> Desf. var. <i>Herbacea</i>) during early stages.	Pakistan Journal of Agricultural Sciences (2012) , Volume 49, Number 3, pp. 345-348, 11 refs. ISSN: 0552-9034 Published by: University of Agriculture, Faisalabad URL (Availability): http://pakjas.com.pk/	薬効薬害に関する論文のため、④
181	Demirsoy, Leyla [Reprint Author]; Demirsoy, Husnu; Balci, Gulden	2012	DIFFERENT GROWING CONDITIONS AFFECT NUTRIENT CONTENT, FRUIT YIELD AND GROWTH IN STRAWBERRY.	Pakistan Journal of Botany, (FEB 2012) Vol. 44, No. 1, pp. 125-129.	The article does not contain information related to the substance of concern.
182	Bigot, G.; Freccero, A.; Zanzotto, A.; Borgo, M.; Viglione, P.	2012	Effects of dithiocarbamates in viticulture. Effetti dei ditiocarbammati in viticoltura.	Informatore Agrario (2012) , Volume 68, Number 18, pp. 66-70 ISSN: 0020-0689 Published by: Edizioni lInformatore Agrario Srl, Verona URL (Availability): http://www.informatoreagrario.it	べと病及び黒斑病に対する効果及び天敵に対する影響であり④, ⑥b。
183	Piubeli, Francine; Grossman, Matthew James [Reprint Author]; Fantinatti-Garboggini, Fabiana; Durrant, Lucia Regina	2012	Enhanced reduction of COD and aromatics in petroleum- produced water using indigenous microorganisms and nutrient addition	International Biodeterioration and Biodegradation, (MAR 2012) Vol. 68, pp. 78-84.	土着の微生物集団によるフェノール、安息香酸、パラヒドロキシ安息香酸などの芳香族化合物の分解に関してであり①。
184	Roubtsova, T. V. [Reprint Author]; Johnson-Brousseau, S. A.; Bostock, R. M.	2012	Episodic abiotic stress and Phytophthora ramorum blight in rhododendron: Impacts on root infection, symptom expression, and chemical management.	Phytopathology, (JUL 2012) Vol. 102, No. 7, Suppl. 4, pp. 103. Meeting Info.: Annual Meeting of the American-Phytopathological-Society (APS). Providence, RI, USA. August 04 -08, 2012. Amer Phytopathol Soc (APS).	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
185	Bock, Clive H. (Reprint) Bock, Clive H. (Reprint); Hotchkiss, Michael W.; Wood, Bruce W. Breneman, Tim B.	2012	Evaluation of a phosphite fungicide to control pecan scab in the southeastern USA	CROP PROTECTION, (JUN 2012) Vol. 36, pp. 58-64. ISSN: 0261-2194.	ペカンの赤カビに対する効果であり④。
186	Bettiga, Larry J. [Reprint Author]; Smith, Richard; Cahn, Michael	2012	Evaluation of the Impacts of In-Row Vineyard Floor Management Practices on Soil and Water Erosion, Vine Growth, and Productivity of Grapevines.	American Journal of Enology and Viticulture, (2012) Vol. 63, No. 3, pp. 441A. Meeting Info.: 63rd National Conference of the American-Society-for-Enology-and-Viticulture (ASEV). Portland, OR, USA. June 20 -21, 2012. Amer Soc Enol and Viticulture (ASEV).	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
187	Coupe Richard H; Kalkhoff Stephen J; Capel Paul D; Gregoire Caroline	2012	Fate and transport of glyphosate and aminomethylphosphonic acid in surface waters of agricultural basins	Pest management science, (2012 Jan) Vol. 68, No. 1, pp. 16-30. Electronic Publication Date: 16 Jun 2011	グリホサートとその代謝物の表層水からの検出についてであり①。

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
188	Hillebrand, Stefan; Zundel, Jean-Luc; Tietjen, Klaus	2012	Fungicides with unknown mode of action	Modern Crop Protection Compounds (2nd Edition) (2012), Volume 2, 865-885. Editor(s): Kraemer, Wolfgang. Publisher: Wiley-VCH Verlag GmbH and Co. KGaA, Weinheim, Germany.	作用機作に関するレビューであり④⑨。
189	Kutz, Frederick W. [Reprint Author]; Morgan, John M. III; Monn, Jeremy; Petrey, Chad P.	2012	Geospatial approaches to characterizing agriculture in the Chincoteague Bay Subbasin.	Environmental Monitoring and Assessment, (JAN 2012) Vol. 184, No. 2, pp. 679-692. http://www.springerlink.com/content/102878/ .	The article does not contain information related to the substance of concern.
190	Avila, Fabricio William; Faquin, Valdemar; Lobato, Allan Klynger Da Silva; Baliza, Danielle Pereira; Marques, Douglas Jose; Abdao Dos Passos, Alexandre Martins; Bastos, Carla Elisa Alves; Guedes, Elaine Maria Silva	2012	Growth, phosphorus status and nutritional aspect in common bean exposed to different soil phosphate levels and foliar-applied phosphorus forms	Scientific Research and Essays (2012), 7(25), 2195-2204	KH ₂ PO ₃ 及びKH ₂ PO ₄ を処理したインゲン豆の生育状況、P濃度を調査した文献であり、①
191	Hirosse, Edison Hitoshi; Creste, Jose Eduardo; Custodio, Ceci Castilho; Machado-Neto, Nelson Barbosa [Reprint Author]	2012	In vitro growth of sweet potato fed with potassium phosphite .	Acta Scientiarum Agronomy, (JAN-MAR 2012) Vol. 34, No. 1, pp. 85-91. ISSN: 1679-9275. E-ISSN: 1807-8621.	サツマイモの成長に対する亜リン酸カリウムの効果を調査した文献であり、①及び④
192	Arain, A. R.; Jiskani, M. M.; Wagan, K. H.; Khuhro, S. N.; Khaskheli, M. I.	2012	Incidence and chemical control of okra leaf spot disease.	Pakistan Journal of Botany (2012) , Volume 44, Number 5, pp. 1769-1774, 49 refs. ISSN: 0556-3321 Published by: Pakistan Botanical Society, Karachi URL (Availability): http://www.pakbs.org/pjbot/abstracts/44(5)/43.html	薬効薬害に関する論文のため、④
193	Gade, R. M.; Koche, M. D.	2012	Integrated disease management for root rot and gummosis in Nagpur mandarin.	Indian Phytopathology (2012) , Volume 65, Number 3, pp. 272-275, 13 refs. ISSN: 0367-973X Published by: Indian Phytopathological Society, New Delhi URL (Availability): http://epubs.icar.org.in/ejournal/index.php/IPPJ	薬効薬害に関する論文のため、④
194	Reckenbeil, Brian [Reprint Author]; Ozbay, Gulnihal	2012	INVESTIGATING BIOLOGICAL DIVERSITY FROM STOCKING RIPRAP WITH OYSTERS (CRASSOSTREA VIRGINICA) IN JEFFERSON CREEK, SOUTH BETHANY, DELAWARE.	Journal of Shellfish Research, (APR 2012) Vol. 31, No. 1, pp. 338. Meeting Info.: 104th Annual Meeting of the National-Shellfisheries-Association. Seattle, WA, USA. March 24 -29, 2012. Natl Shellfisheries Assoc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
195	Druart, Coline; Scheiffler, Renaud; Millet, Maurice; De Vaufléury, Annette	2012	Landsnail eggs bioassays: A new tool to assess embryotoxicity of contaminants in the solid, liquid or gaseous phase of soil	Applied soil ecology (2012) , Volume 53, pp. 56-64 ISSN: 0929-1393 Published by: Elsevier B.V. Source Note: 2012 Feb., v. 53	The study is classified as not relevant since the test item Valiant Flash used in this study is a mixture containing fosetyl-Al, Cymoxanil and Folpet. カタツムリに対する影響であり⑥b
196	Olivieri, F. P. [Reprint Author]; Feldman, M. L.; Machinandiarena, M. F.; Lobato, M. C.; Caldiz, D. O.; Daleo, G. R.; Andreu, A. B.	2012	Phosphite applications induce molecular modifications in potato tuber periderm and cortex that enhance resistance to pathogens.	Crop Protection, (FEB 2012) Vol. 32, pp. 1-6.	亜リン酸処理によるばれいしょ防御反応について調べており④。
197	Cicore, P. L.; Suarez, P. A.; Andreu, A. B. Editor(S): Daami-Remadi, M.	2012	Phosphites effect on late blight control and physiological parameters in commercial potato (Solanum tuberosum L.) in Argentina. Special Issue: Potato pathology .	Pest Technology (2012) , Volume 6, Number Special Issue 1, pp. 27-31 ISSN: 1749-4818 Published by: Global Science Books, Kagawa ken URL (Availability): http://www.globalsciencebooks.info/JournalsSup/12PT_6_SII.html	ジャガイモ疫病菌に対する効果であり④。
198	Botta Fabrizio; Fauchon Nils; Blanchoud Helene; Chevreuil Marc; Guery Benedicte	2012	Phyt'Eaux Cites: Application and validation of a programme to reduce surface water contamination with urban pesticides	Chemosphere, (2012 Jan) Vol. 86, No. 2, pp. 166-76. Electronic Publication Date: 9 Nov 2011	フランスの水モニタリングであり⑩。
199	Pereira, V. F.; Resende, M. L. V. De; Ribeiro Junior, P. M.; Regina, M. De A.; Mota, R. V. Da; Vitorino, L. R. R.; De A. Regina, M.; De Resende, M. L. V.; Da Mota, R. V.	2012	Potassium phosphite on the control of downy mildew of grapevine and physicochemical characteristics of Merlot grapes. Fosfito de potassio no controle do mildio da videira e características físico-químicas de uvas Merlot.	Pesquisa Agropecuaria Brasileira (2012) , Volume 47, Number 11, pp. 1581-1588, 30 refs. ISSN: 0100-204X DOI: 10.1590/S0100-204X2012001100004 Published by: Empresa Brasileira de Pesquisa Agropecuaria, Brasilia URL (Availability): http://www.scielo.br/pab	亜リン酸カリウムのべと病に対する効果であり④。

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
200	Aiello, D.; Vitale, A.; Guarnaccia, V.; Cinquerrui, A.; Formica, P. T.; Polizzi, G.	2012	Red clover as a model plant for studying the effects of fungicide and biological treatments to control Calonectria diseases.	IOBC/WPRS Bulletin (2012) , Volume 80, pp. 291-296 Published by: International Organization for Biological and Integrated Control of Noxious Animals and Plants (OIBC/OILB), West Palaearctic Regional Section (WPRS/SROP), Dijon Conference: Proceedings of the IOBC/WPRS Working Group /Integrated Control in Protected Crops, Mediterranean Climate/, Catania, Sicily, Italy, 9 - 12 October 2012. URL (Availability): http://www.iobc-wprs.org/pub/bulletins/bulletin_2012_80_table_of_contents_abstracts.pdf	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
201	Becker, E. M. [Reprint Author]; Rajakulendran, N.; Shamoun, S. F.	2012	Trichoderma spp. - antagonistic effects to Phytophthora ramorum growth and spore germination in vitro.	Canadian Journal of Plant Pathology, (2012) Vol. 34, No. 2, pp. 324-325. http://www.tandfonline.com/loi/tcjp20 . Meeting Info.: Annual Meeting of the Canadian-Phytopathological-Society. Halifax, CANADA. July 17 -20, 2011. Canadian Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
202	Decoin Marianne	2012	Vigne, annee a fongicides dont trois alternatifs : Vigne	Phytoma-La Defense des vegetaux, (2012) (658), 22-25 ISSN: 1164-6993	リスク評価に関連する報告が含まれていないことから、dRARにおいては申請者が提出した文献報告書のnone-relevantリストに記載されている。
203	Chen, Xiao-Kun; Yang, Min; Li, Quan-Xing	2013	Acute toxicity and safety evaluation of six pesticides to Trichogramma ostrinae pang et Chen	Shijie Nongyao (2013), 35(6), 56-58	タマゴヤドリコバチに対する影響であり⑩b。
204	Anon.	2013	Conclusion on the peer review of the pesticide risk assessment of the active substance disodium phosphonate.	EFSA J., Volume 11, Issue 7, Page 3213, 50 pp., Publication Year 2013	海外評価機関の評価書
205	Krebs, H.; Musa, T.; Vogelgsang, S.; Forrer, H. R.	2013	Copper free control of potato late blight in organic potato production? Kupferfreie Bekämpfung der Kraut-und Knollenfäule im Bio-Kartoffelbau?	Agrarforschung Schweiz (2013) , Volume 4, Number 5, pp. 238-243, 8 refs. ISSN: 1663-7852 Published by: Bundesamt fuer Landwirtschaft, Bern URL (Availability): http://www.agrarforschungschweiz.ch	ばれいしょ有機栽培におけるホスホン酸カリウムの有用性を評価しており、①
206	Mazzini, F.	2013	Crop protection products: new products, changes in employment and exceptional uses. Agrofarmaci: nuovi prodotti, variazioni di impiego e usi eccezionali.	Informatore Agrario (2013) , Volume 69, Number 14, pp. 48-51 ISSN: 0020-0689 Published by: Edizioni IlInformatore Agrario Srl, Verona URL (Availability): http://www.informatoreagrario.it	The article does not contain information related to the substance of concern.
207	Wong, J. J. [Reprint Author]; Li, S.; Lim, E.; Wang, Y.; Zhang, H.; Kirilly, D.; Wu, C.; Liou, Y. -C.; Wang, H.; Yu, F.	2013	Cullin-1 based SCF E3 ligase complex directs 2 distinct modes of neuronal remodelling in Drosophila melanogaster.	Society for Neuroscience Abstract Viewer and Itinerary Planner, (2013) Vol. 43. Meeting Info.: 43rd Annual Meeting of the Society-for-Neuroscience. San Diego, CA, USA. November 09 -13, 2013. Soc Neuroscience.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
208	Miyamoto, Shiori; Fukuda, Masayuki; Kagawa, Noriko; Nitta, Yuko; Yoshida, Kimi; Ohkura, Toshihiro; Shinomiya, Hiroto	2013	Development of a method of determining organic phosphorus pesticides in raw water for water supply by liquid chromatography-inductively coupled plasma mass spectrometry	Mizu Kankyo Gakkaishi (2013), 36A(12), 107-113	分析法の開発に関する論文であり、⑤
209	Ivask, Mari; Olle, Lilian; Nei, Lembit [Reprint Author]	2013	Domestic organic waste treatment through vermitechology.	Waste Management and Research, (AUG 2013) Vol. 31, No. 8, Sp. Iss. SI, pp. 878. http://wmr.sagepub.com .	査読済みの公表文献ではない (Letter) 。
210	Comber, S; Gardner, M; Georges, K; Blackwood, D; Gilmour, D	2013	Domestic source of phosphorus to sewage treatment works	Environ. Technol., (2013) Vol. 34, Issue 10, pp. 1349-1358	リン源に関してであり②。
211	Gengotti, S.; Antoniacci, L.	2013	Downy mildew of lettuce: comparison of fungicidal activity. Peronospora della lattuga: attivita fungicida a confronto.	Informatore Agrario (2013) , Volume 69, Number 21, pp. 49-53 ISSN: 0020-0689 Published by: Edizioni IlInformatore Agrario Srl, Verona URL (Availability): http://www.informatoreagrario.it	薬効薬害に関する論文のため、④
212	Mensin, Sumalee; Soyong, Kasem; McGovern, Robert J.; Toanun, Chaiwat	2013	Effect of agricultural pesticides on the growth and sporulation of nematophagous fungi	Agricultural Technology (2013), 9(4), 953-961	線虫捕食菌に対する影響であり⑩b
213	Araujo, Josinaldo Lopes; Faquin, Valdemar; De Avila, Fabricio William; Pedroso, Thiago Queiroz	2013	Effect of phosphite-phosphate interactions on growth and on phosphorus nutrition of common bean in nutrient solutions	Revista Brasileira de Ciencia do Solo (2013), 37(2), 482-490	亜リン酸塩とリン酸塩を含む培養液を用いてインゲンマメの成長を調査した論文であり、④

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
214	Koche, M. D.; Gade, R. M.	2013	Effect of sodium chloride, streptocycline sulphate and different agrochemical on growth of <i>Pseudomonas fluorescens</i> .	Journal of Mycopathological Research (2013) , Volume 51, Number 2, pp. 295-299, 15 refs. ISSN: 0971-3719 Published by: Indian Mycological Society, Kolkata URL (Availability): http://www.imskolkata.org/	シュードモナス菌に対する影響であり⑥b
215	Geret, F.; Burgeot, T.; Haure, J.; Gagnaire, B.; Renault, T.; Communal, P. Y.; Samain, J. F.	2013	Effects of low-dose exposure to pesticide mixture on physiological responses of the pacific oyster, <i>Crassostrea gigas</i>	Environmental Toxicology (2013), 28(12), 689-699	The study is classified as not relevant since the test item used in this study is a mixture containing fosetyl-Al and 7 other pesticides. マガキに対する影響であり⑥b
216	Mahovic, Michael; Gu, Ganyu; Rideout, Steven	2013	Effects of pesticides on the reduction of plant and human pathogenic bacteria in application water	Journal of Food Protection (2013), 76(4), 719-722	農業散布水中の病原性細菌に対する活性を調査した文献であり、4分野に該当しないため、⑬
217	Faucon, Adrien; Lenk, Romaric; Hemez, Julie; Jacquemin, Denis; Le Questel, Jean-Yves; Graton, Jerome; Ishow, Elena (Correspondence)	2013	Fluorescent carboxylic and phosphonic acids: comparative photophysics from solution to organic nanoparticles.	Physical Chemistry Chemical Physics, (14 Aug 2013) Vol. 15, No. 30, pp. 12748-12756. Refs: 43 ISSN: 1463-9076 CODEN: PPCPFQ	ホスフィン酸蛍光ナノ粒子とカルボン酸蛍光ナノ粒子の比較実験であり①。
218	Sugeng, Anastasia J.; Beamer, Paloma I.; Lutz, Eric A.; Rosales, Cecilia B.	2013	Hazard-ranking of agricultural pesticides for chronic health effects in Yuma County, Arizona	Science of the Total Environment (2013), 463-464, 35-41	農薬の使用量、毒性、暴露可能性からハザード順位を付ける手法を述べており、個別の農薬について毒性に関する新しい知見を含まない。ホセチルは検証された農薬の一つである。
219	Georgieva, Elenka; Atanasova, Pepa; Velcheva, Iliana; Stoyanova, Stela [Reprint Author]; Yancheva, Vesela	2013	Histochemical Effects of /Verita WG/ on Glycogen and Lipid Storage in Common Carp (<i>Cyprinus carpio</i> L.) Liver.	Ecologia Balkanica, (DEC 2013) Vol. 5, No. 2, pp. 91-97. http://eb.bio.uni-plovdiv.bg/ . ISSN: 1314-0213. E-ISSN: 1313-9940.	The study is classified as not relevant since the test item used in this study is a mixture containing fosetyl-Al and another fungicide fenamidone.
220	Roberts, J. [Reprint Author]; Ritchie, D.	2013	Impact of antimicrobial compounds on etiolation of creeping bentgrass putting green turf.	Phytopathology, (JUN 2013) Vol. 103, No. 6, Suppl. 2, pp. 122. Meeting Info.: Joint Meeting of the American-Phytopathological-Society (APS) and the Mycological-Society-of-America (MSA). Austin, TX, USA. August 10 -14, 2013. Amer Phytopathol Soc (APS); Mycol Soc Amer (MSA).	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
221	Alvarez Morinigo, F. T.; Grabowski Ocampos, C.	2013	Induction of resistance to the bacterial spot (<i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>sesami</i>) in sesame (<i>Sesamum indicum</i> L.) plants. Induccion de resistencia en plantas de sesamo (<i>Sesamum indicum</i> L.) a la mancha bacteriana (<i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>sesami</i>).	Investigacion Agraria (2013) , Volume 15, Number 2, pp. 97-105, 40 refs. ISSN: 1684-9086 Published by: FCA/UNA (Facultad de Ciencias Agrarias, Universidad Nacional de Asuncion), San Lorenzo URL (Availability): http://www.agr.una.py/revista/index.php/ria/article/view/233/220	薬効薬害に関する論文のため、④
222	Roubtsova, T. V. [Reprint Author]; Bostock, R. M.	2013	Interaction of root stress, chemical management, and ramorum blight development from soilborne inoculum in potted rhododendron plants.	Phytopathology, (JUN 2013) Vol. 103, No. 6, Suppl. 2, pp. 124. Meeting Info.: Joint Meeting of the American-Phytopathological-Society (APS) and the Mycological-Society-of-America (MSA). Austin, TX, USA. August 10 -14, 2013. Amer Phytopathol Soc (APS); Mycol Soc Amer (MSA).	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
223	Abraham, Cheri. M.; Braman, S. K.; Oetting, R. D.; Hinkle, N. C.	2013	Pesticide compatibility with natural enemies for pest management in greenhouse gerbera daisies	Journal of Economic Entomology (2013), 106(4), 1590-1601	天敵に対する影響であり⑥b
224	Cengiz, A; Bayramgil, Np	2013	Phosphonic Acid Containing Superporous Hydrogels and their Adsorption Properties	Soft Mater., (2013) Vol. 11, Issue 4, pp. 476-482	1-vinyl 1,2,4-triazole及びvinylphosphonic acidへの60Co ガンマ線照射により調製されたpoly[(1-vinyl 1,2,4- triazole)-co-(vinylphosphonic acid)] (poly(VTAz/VPA)) hydrogelsの構造変化であり①。
225	Ahani, H.; Seyedmahalleh, S. M. M.; Jalilvand, H.	2013	Product of aromatic and medicinal GERY JUNIPER (<i>Juniperus excelsa</i> and <i>Juniperus polycarpus</i>).	Technical Journal of Engineering and Applied Sciences (2013) , Volume 3, Number 1, pp. 1-7, 48 refs. ISSN: 2051-0853 Published by: Science Explorer Publications, London URL (Availability): http://tjeas.com/wp-content/uploads/2013/01/1-7.pdf	ビャクシン属植物の繁殖に関する論文、挿し木の発根効果について記載、⑬
226	Martin, Jw; Mabury, SA; Solomon, Kr; Muir, Dcg	2013	Progress toward understanding the bioaccumulation of perfluorinated alkyl acids	Environ. Toxicol. Chem., (2013) Vol. 32, Issue 11, pp. 2421-2423	PFOA及びPFOSの魚における濃縮性に関してであり①。
227	Ahani, Hamid; Jalilvand, Hamid; Hosseini Nasr, Seyed Mohammad; Soltani Kouhbanani, Hossein; Ghazi, Mohammad Reza; Mohammadzadeh, Hassan	2013	Reproduction of juniper (<i>Juniperus polycarpus</i>) in Khorasan Razavi, Iran.	Forest Science and Practice, (SEP 2013) Vol. 15, No. 3, pp. 231-237. http://www.springer.com/life+sciences/forestry/journal/11632 . ISSN: 2095-4034. E-ISSN: 2095-4034.	ビャクシン属植物の繁殖に関する論文、挿し木の発根効果について記載、⑬

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
228	Mkhize, N.; Bower, J. P.; Bertling, I.; Mathaba, N. Editor(S): Hannweg, K.; Penner, M.	2013	Response of citrus physiology to phosphorus acid and silicon as elicitors of induced disease resistance.	Acta Horticulturae (2013) , Number 1007, pp. 135-141, 8 refs. ISSN: 0567-7572 ISBN: 978-90-66056-66-4 Published by: International Society for Horticultural Science (ISHS), Leuven Conference: II All Africa Horticulture Congress, Skukuza, Kruger National Park, South Africa. URL (Availability): http://www.actahort.org/books/1007/1007_12.htm	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
229	Gonzalez-Zamora, J. E. [Reprint Author]; Castillo, M. L.; Avilla, C.	2013	Side effects of different pesticides used in citrus on the adult stage of the parasitoid <i>Aphytis melinus</i> DeBach (Hymenoptera: Aphelinidae) and its progeny.	Spanish Journal of Agricultural Research, (JUN 2013) Vol. 11, No. 2, pp. 494-504. ISSN: 1695-971X.	寄生ハチに対する影響であり⑩b
230	Graillot, Alain; Bouyer, Denis [Reprint Author]; Monge, Sophie; Robin, Jean-Jacques; Loison, Pierre; Faur, Catherine	2013	Sorption properties of a new thermosensitive copolymeric sorbent bearing phosphonic acid moieties in multi-component solution of cationic species.	Journal of Hazardous Materials, (SEP 15 2013) Vol. 260, pp. 425-433. http://www.journals.elsevier.com/journal-of-hazardous-materials/#description .	ホスホン酸基を有する感熱性コポリマー、ポリ(Nn-プロピルアクリルアミド-stat-2(メタクロロイルオキシ)メチルホスホン酸) (P(NnPAAm-stat-hMAPC1)) を合成し、多価陽イオン Ni ²⁺ 、Ca ²⁺ 、Cd ²⁺ と1つの三価陽イオン Al ³⁺ への吸着を研究したものであり①。
231	Jin, Hongyan; Germida, James J.; Walley, Fran L. (Reprint)	2013	Suppressive effects of seed-applied fungicides on arbuscular mycorrhizal fungi (AMF) differ with fungicide mode of action and AMF species	APPLIED SOIL ECOLOGY, (OCT 2013) Vol. 72, pp. 22-30. ISSN: 0929-1393.	薬効薬害に関する論文のため、④
232	Daouk Silwan; De Alencastro Luiz F; Pfeifer Hans-Rudolf	2013	The herbicide glyphosate and its metabolite AMPA in the Lavaux vineyard area, western Switzerland: Proof of widespread export to surface waters. Part II: The role of infiltration and surface runoff	Journal of environmental science and health. Part. B, Pesticides, food contaminants, and agricultural wastes, (2013) Vol. 48, No. 9, pp. 725-36.	グリホサート及びその代謝物AMPAのスイスにおける残留調査であり①。
233	De Deus Bueno Krawczyk, Ana Carolina Y [Reprint Author]; Baldan, Luciola Thais; Rocha Aranha, Jose Marcelo; De Menezes, Marcia Santos; Ahneida, Cyntia Vilasboas	2013	The invertebrates community in adjacent Alto Iguacu anthropic lakes of different environmental factors.	Biota Neotropica, (JAN-MAR 2013) Vol. 13, No. 1, pp. 47-60. http://www.biotaneotropica.org.br/ . ISSN: 1676-0603. E-ISSN: 1676-0603.	The article does not contain information related to the substance of concern.
234	Hyvonen NP, Huttunen JT, Shurpali NJ, Lind SE, Marushchak ME, Heitto L, Martikainen P	2013	The role of drainage ditches in greenhouse gas emissions and surface leaching losses from a cutaway peatland cultivated with a perennial bioenergy crop	Boreal Environment Research 18: 109-126.	排水溝からの温室効果ガスの排出とバイオエネルギー用のヨシカナリア草を栽培した泥炭地のリーチングの調査において、リンの損失を調べたものであり①
235	Mikhailikova, V. V.; Alekhin, V. T.; Strebkova, N. S.; Naumova, E. N.	2013	Use of active ingredients in plant protection chemicals in the Russian Federation	Agrokimiya (2013), (12), 10-14	The article does not contain information related to the substance of concern.
236	Trail, Jessica [Reprint Author]; Turner, Dean	2013	Wetlands and their role in water quality through natural filtration.	Abstracts of Papers American Chemical Society, (APR 7 2013) Vol. 245, pp. 1385-CHED. Meeting Info.: 245th National Meeting of the American-Chemical-Society (ACS). New Orleans, LA, USA. April 07 -11, 2013. Amer Chem Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
237	Zhao, Changsen [Reprint Author]; Liu, Changming; Zhao, Jihua; Xia, Jun; Yu, Qiang; Eamus, Derek	2013	Zooplankton in highly regulated rivers: Changing with water environment.	Ecological Engineering, (SEP 2013) Vol. 58, pp. 323-334. http://www.journals.elsevier.com/ecological-engineering/#description . ISSN: 0925-8574. E-ISSN: 1872-6992.	The article does not contain information related to the substance of concern.
238	Brown, K. [Reprint Author]; Brenneman, T.	2014	Alternative applications of pecan fungicides and implications for disease management.	Phytopathology, (NOV 2014) Vol. 104, No. 11, Suppl. 3, pp. 19-20. Meeting Info.: Joint Meeting of the American-Phytopathological-Society and Canadian-Phytopathological-Society. Minneapolis, MN, USA. August 09 -13, 2014. Amer Phytopathol Soc; Canadian Phytopathol Soc.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑧
239	Mach, Jennifer	2014	Boron Transport in Maize.	Plant Cell, (JUL 2014) Vol. 26, No. 7, pp. 2728.	査読済みの公表文献ではない (Editorial)。
240	Hailey, L. E.; Percival, G. C.	2014	Comparative assessment of phosphite formulations for apple scab (<i>Venturia inaequalis</i>) control.	Arboriculture and Urban Forestry (2014) , Volume 40, Number 4, pp. 237-243 ISSN: 1935-5297 Published by: International Society of Arboriculture, Champaign URL (Availability): http://joa.isa-arbor.com/articles.asp?JournalID equals 1 and VolumeID equals 40 and IssueID equals 4	薬効薬害に関する論文のため、④

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
241	Ahanger, R. A.; Vishal Gupta; Razdan, V. K.; Dar, N. A.; Bhat, H. A.; Gupta, V.	2014	Compatibility studies of Trichoderma viride with selected fungicides, insecticides and herbicides.	Biopesticides International (2014) , Volume 10, Number 2, pp. 188-192, 15 refs. ISSN: 0973-483X Published by: Koul Research Foundation, Jalandhar URL (Availability): http://www.connectjournals.com/bi	子囊菌に対する影響であり④。
242	Su, Liang; Cheng, Qianchuan; Luo, Xiaosong; Wang, Chengjun; Ai, Xia; Chen, Zhangbao	2014	Effect of residual pesticides on the growth of photosynthetic bacteria in aquaculture waters	Xumu Yu Shouyi (2014) , 46(7), 69-73	バクテリアに対する影響であり⑥b。
243	Janecko, Allen K.; Walters, Edward B.; Schultdt, Steven J.; Magnuson, Matthew L.; Willison, Stuart A.; Brown, Lisa M.; Ruiz, Oscar N.; Felker, Daniel L.; Racz, Leeann [Reprint Author]	2014	Fate of malathion and a phosphonic acid in activated sludge with varying solids retention times.	Water Research, (JUN 15 2014) Vol. 57, pp. 127-139.	The article reports on ethyl-methylphosphonate and does not contain information related to the substance of concern phosphorous acid.
244	Shishkoff, Nina	2014	Growth-inhibiting Fungicides Affect Detection of Phytophthora ramorum from Infected Foliage and Roots	Plant health progress (2014) , Volume 15, 36 p. Source Note: 2014 Mar. 18, v. 15	薬効薬害に関する論文のため、④
245	Fernandes, Luiz Henrique Monteiro; Rezende De Oliveira Silveira, Helbert; Dazio De Souza, Kamila Rezende; Vilela De Resende, Mario Lucio; Alves, Jose Donizeti	2014	Inductors of resistance and their role in photosynthesis and antioxidant system activity of coffee seedlings	American Journal of Plant Sciences (2014) , 5(25), 3710-3716, 8 pp.	薬効薬害に関する論文のため、④
246	Leal, Jose Manuel; Castano, Jairo; Bolanos, Martha M.	2014	Management of avocado (Persea americana Linneo) root rot (Phytophthora cinnamomi Rands)	Revista U.D.C.A Actualidad and Divulgacion Cientifica (2014) , 17(1), 105-114	薬効薬害に関する論文のため、④
247	Dalio, Ronaldo J. D.; Fleischmann, Frank; Humez, Martina; Osswald, Wolfgang [Reprint Author]	2014	Phosphite Protects Fagus sylvatica Seedlings towards Phytophthora plurivora via Local Toxicity , Priming and Facilitation of Pathogen Recognition.	PLoS One, (JAN 28 2014) Vol. 9, No. 1, pp. Article No.: e87860. http://ukpmc.ac.uk/journals/1217/ . ISSN: 1932-6203. E-ISSN: 1932-6203.	薬効薬害に関する論文のため、④
248	Stringfellow, William T.; Domen, Jeremy K.; Camarillo, Mary Kay; Sandelin, Whitney L.; Borglin, Sharon	2014	Physical, chemical, and biological characteristics of compounds used in hydraulic fracturing	Journal of Hazardous Materials (2014) , 275, 37-54	物理的・化学的性状に関する論文のため、④
249	Dabrowski, James Michael (Correspondence); Shadung, Justinus Madimetja	2014	Prioritizing agricultural pesticides used in South Africa based on their environmental mobility and potential human health effects.	Environment International, (January 2014) Vol. 62, pp. 31-40. Refs: 41 ISSN: 0160-4120; E-ISSN: 1873-6750 CODEN: ENVIDV	農薬を使用量、毒性、暴露ポテンシャルに基づいて指数化し優先順位付けするための手法についての提言。対象となった多数の農薬の一つに亜リン酸カリウムが含まれる。
250	Karasali, Helen; Kasiotis, Konstantinos M.; Machera, Kyriaki	2014	Rapid determination of fosetyl - aluminium in commercial pesticide formulations by high-performance liquid chromatography	Chemical Papers (2014) , 68(6), 725-731	分析法に関する論文であり、⑤
251	Costa, Bruno Henrique G.; De Resende, Mario Lucio V.; Ribeiro, Pedro M., Jr.; Mathioni, Sandra M.; Padua, Moises A.; Da Silva, Manoel B., Jr.	2014	Suppression of Rust and Brown Eye Spot Diseases on Coffee by Phosphites and By-products of Coffee and Citrus Industries	Journal of Phytopathology (2014) , 162(10), 635-642	さび病等に対する効果であり④。
252	Patterson, Megan; Alyokhin, Andrei	2014	Survival and development of Colorado potato beetles on potatoes treated with phosphite	Crop Protection (2014) , 61, 38-42	亜リン酸による甲虫への効果であり④
253	Faisal Hussain; Shaukat, S. S.; Muhammad Abid; Farzana Usman; Muhammad Akbar	2014	The effects of fungicides alone and in conjunction with chitin on the control of some fungal pathogens associated with chilli seeds.	World Applied Sciences Journal (2014) , Volume 32, Number 5, pp. 977-985, 60 refs. ISSN: 1818-4952 Published by: IDOSI Publications, Dubai URL (Availability): http://www.idosi.org/wasj/wasj32(5)14/32.pdf	薬効薬害に関する論文のため、④
254	Sivakumar, G. [Reprint Author]; Dhanya, M. K.; Narayana, R.	2014	Validation of a Technology for the Management of Phytophthora Foot Rot Disease in Black Pepper.	Journal of Mycology and Plant Pathology, (SEP 2014) Vol. 44, No. 3, pp. 298-300. ISSN: 0971-9393.	ホスホン酸カリウム及びボルドーの疫病に対する効果であり④。
255	Riggs, J. [Reprint Author]; Andersch, W.; Pluschkel, U.; Bugg, K.	2014	VOTIVO (R): INNOVATION DRIVEN, NEMATODE PROTECTION AND PLANT HEALTH BENEFITS.	Journal of Nematology, (JUN 2014) Vol. 46, No. 2, pp. 227. http://www.journal-of-nematology-style-guide.org/ . Meeting Info.: 6th International Congress of Nematology. Cape Town, SOUTH AFRICA. May 04 -09, 2014.	リスク評価をする上で十分なデータや情報を含まない学会発表等の概要や総説、成書であり、⑤

No	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由 (番号は3参照)
256	Salem, Abdelfattah Z. M. [Reprint Author]; Dilozeno, Nicolas	2015	Direct-fed microbial: Animal nutrition and reproduction responses.	Journal of Integrative Agriculture, (2015) Vol. 14, No. 3, pp. 494-496. http://www.elsevier.com/wps/find/journaldescription.cws_home/727934/description#description . ISSN: 2095-3119.	査読済みの公表文献ではない (Editorial) 。
257	Diaz-Najera, J. F.; Alvarado-Gomez, O. G.; Leyva-Mir, S. G.; Ayvar-Serna, S.; Michel-Aceves, A. C.; Vargas-Hernandez, M.	2015	Identification and control of fungi causing fruits rot in pipiana pumpkin (Cucurbita argyrosperma Huber).	African Journal of Agricultural Research (2015) , Volume 10, Number 11, pp. 1150-1157, 36 refs. ISSN: 1991-637X Published by: Academic Journals, Nairobi URL (Availability): http://www.academicjournals.org/journal/AJAR/article-abstract/D5A27A851375	薬効薬害に関する論文のため、④
258	Berrie, A.; Lower, K.; Passey, T.; Saville, R.	2015	Integrated control of Botrytis cinerea in blackcurrants.	IOBC/WPRS Bulletin (2015) , Volume 109, pp. 9-15 Published by: International Organization for Biological and Integrated Control of Noxious Animals and Plants (IOBC/OILB), West Palaearctic Regional Section (WPRS/SROP), Dijon Conference: Proceedings of the IOBC/WPRS Working Group /Integrated Control in Oilseed Crops/, Vigalzano di Pergine Valsugana, Italy, 26-28 May 2014. URL (Availability): http://www.iobc-wprs.org/pub/bulletins/bulletin_2015_109_table_of_contents_abstracts.pdf	薬効薬害に関する論文のため、④
259	Bundschuh, M. Weyers, A. Ebeling, M. Elsaesser, D. Schulz, R.	2015	Narrow pH range of surface water bodies receiving pesticide input in Europe	Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology, (2015)	欧州の表面水のpHに関してであり①
260	Obenland, D.; Feliziani, E.; Zhu, S.; Zhao, X.; Margosan, D. A.; Mlikota Gabler, F.; Van Zyl, S.; Romanazzi, G.; Smilanick, J. L.; Beno-Moualem, D.; Kaplunov, T.; Lichter, A.	2015	Potassium application to table grape clusters after veraison increases soluble solids by enhancing berry water loss	Scientia Horticulturae (Amsterdam, Netherlands) (2015) , 187, 58-64	カリウム処理によるぶどうの品質への影響であり①。